

令和3年度 ふるさと・きずな・維持再生支援事業事務業務

NPO、企業、学生等との連携・協力事業
(NPOと企業等のマッチング事業)
報告書



福島県

ふくしま地域活動団体サポートセンター

事業委託：福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課

事業受託：認定特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター

目 次

1. 事業の目的	3
2. 事業スケジュール	4
3. 事業の内容	6
(1) 事前アンケート調査とヒアリング活動	6
(2) NPO 事前講座	1 3
(3) 企業との情報交換会	1 9
(4) NPO と企業とのマッチング会	2 2
(5) マッチング会後のアフターフォロー	6 1
4. マッチング事業の成果	6 4

1. 事業の目的

多様化・複雑化する現代社会において、福島県では多くの NPO が様々な地域課題を解決すべく日々活動している。しかし NPO が単独で対応するには資金や人材などが不足しているのが現状である。加えて一昨年より続く新型コロナウイルス(以下、新型コロナ)の感染拡大による影響が従来の活動への制約となっており、新たな取組の必要性が高まっている。一方で企業等においても同様に新型コロナの影響を受けつつも、持続可能な社会を実現するための経営方針や事業内容の変革が求められている。

当事業は新たな事業展開を目指す NPO の運営を、企業等との連携・協働促進を通じて支援するとともに、双方にメリットがあり、かつ多様化・複雑化する地域課題の解決に寄与する事業を生み出すことを目的として実施した。

<NPO と企業等のマッチング事業の令和 3 年度の基本的な考え方>

今年度の事業では、NPO と企業等の連携・協働による新たな事業が生み出されるために、マッチング会において具体的な事業をイメージした活発な対話が行われることが重要であると考え、以下のような取組を行った。

まず準備段階においては、NPO や企業にマッチング会で具体的な連携・協働をイメージした対話が行われるために何が必要かをヒアリングした。その結果「事前に参加者の情報を把握できれば、マッチング会で具体的な対話がしやすくなり、連携・協働が進むのではないか」との意見が多く見られた。

そこで今年度の事業では、NPO に対しては事前講座の中で参加予定の企業に関する情報を提供し、そこから具体的な連携・協働をイメージすることを従来の内容に加えた。また企業に対しても「企業情報交換会」で参加 NPO の情報提供を重点的に行った。またマッチング会においてもこれまで行っていた NPO の団体紹介に加え、企業からの事業紹介も行った。その結果、マッチング会では具体的な連携・協働のアイデアを話し合うことができ、2022 年 1 月初旬より感染が拡大した、新型コロナ第 6 波の影響で活動が制限されている中でも、次々と事業の実現に向かった話し合いが進められていることがマッチング会終了後の参加者への取材でも確認された。

更にふくしま地域活動団体サポートセンターのスタッフも必要に応じて伴走支援を行い、連携・協働事業の実現を目指すとともに、事業のアイデアが継続的に生み出されるような意識づけを促すことによって、NPO の運営支援につなげていくこととした。

2. 事業スケジュール

本事業の内容については大きく分けて

- [1] 事前アンケート調査
- [2] NP0 事前講座(アプローチ講座、プレゼン講座)
- [3] 企業との情報交換会
- [4] NP0 と企業とのマッチング会
- [5] マッチング会後のアフターフォロー

の5つあり、その実施スケジュールは以下の通りである。

[1] 事前アンケート調査

7月1日(木)～7月30日(金)

福島県内のNP0へのアンケート調査

7月1日(木)～10月29日(金)

福島県内企業(1,894社)へのアンケート調査

[2] NP0 事前講座(アプローチ講座、プレゼン講座)

アプローチ講座

9月28日(火) 会津アピオスペース 研修室

9月30日(木) 福島市市民活動サポートセンター A会議室

10月4日(月) いわき産業創造館 会議室1

※ 9月24日(金)に予定していた郡山開催については、新型コロナまん延防止等重点措置発出の影響で中止となった。

プレゼン講座

11月4日(木) 10:00～12:00 郡山会場参加者向け

11月4日(木) 14:00～16:00 会津若松会場参加者向け

11月10日(水) 10:00～12:00 福島会場参加者向け

11月10日(水) 14:00～16:00 いわき会場参加者向け

すべて、Zoomにて実施

[3] 企業との情報交換会

11月5日(金) 13:30～15:30 Zoomにて実施

[4] NP0 と企業とのマッチング会

- 1 1 月 1 7 日 (水) いわき産業創造館 企画展示室 A
- 1 1 月 1 9 日 (金) 郡山市労働福祉会館 中会議室
- 1 1 月 2 4 日 (水) 会津アピオスペース 大会議室
- 1 1 月 2 6 日 (金) 福島市市民活動サポートセンター 多目的ホール

[5] マッチング会後のアフターフォロー

1 1 月 2 9 日 (月) ～

事後のアンケート調査を含めたアフターフォローを、ふくしま地域活動団体サポートセンタースタッフにより実施。

3. 事業の内容

(1) 事前アンケート調査

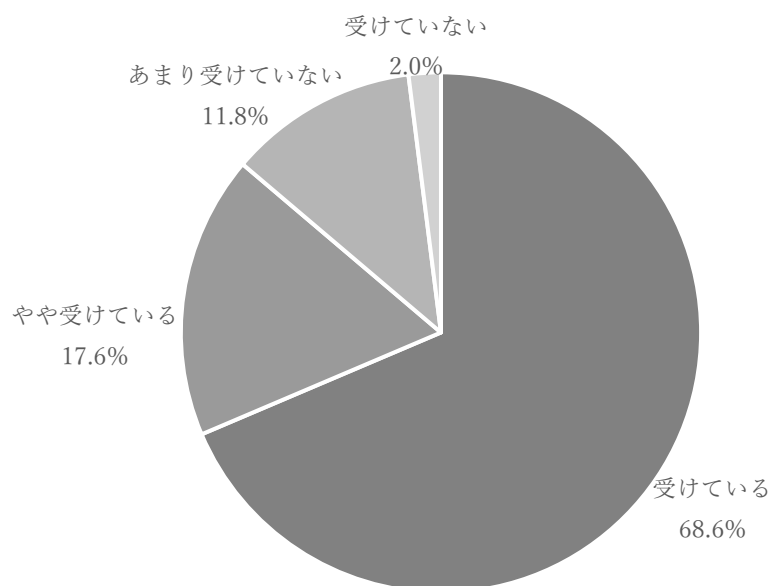
事業を開始するにあたり、県内の NPO と企業へアンケート調査を行った。

令和3年度 NPO と企業等のマッチング事業 事前アンケート集計(NPO)

- 配布 845箇所
- アンケート回答数 99団体（回収率 11.7%）
- 質問事項と集計

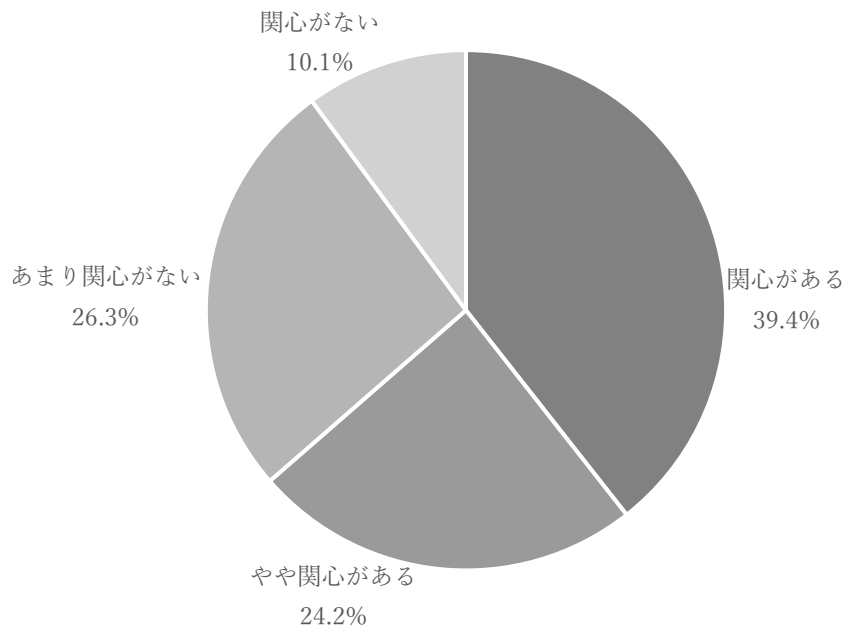
1. 近年の社会変化(コロナ禍、気候変動、環境問題等)によって、貴団体は影響を受けていますか？

- ① 受けている・・・59件（59.7%）
- ② やや受けている・・・22件（22.1%）
- ③ あまり受けていない・・・11件（11.2%）
- ④ 受けていない・・・7件（7.1%）



2. 貴団体は、セクターを超えた協働(NPO との協働)に関心がありますか？

- ① 関心がある・・・39件（39.4%）
- ② やや関心がある・・・24件（24.2%）
- ③ あまり関心がない・・・26件（26.3%）
- ④ 関心がない・・・10件（10.1%）



3. セクターを超えた協働を行う場合、協働相手に協力できること、求めたいことはありますか？

(1) 協働相手に協力できること

- ・ 県内～全国の総合型スポーツクラブとのネットワークがあるため、何か案内PRすることが可能である。
- ・ スポーツイベントの企画、運営、実施や技術者指導。
- ・ デザイン、クリエイティブ制作。
- ・ 街づくりイベントの企画制作。
- ・ ダイバーシティ、多様性教育のセミナー。
- ・ 各種自然体験活動の場の提供。
- ・ 学校や公民館等の(社会)教育の実践機関。
- ・ 学校で子どもたちにドローンを教えたい。操縦を教え、スマート農業について学ぶ。

- ・ 観光業者または観光客の希望に沿った観光健康ウォークコースの設定とそのガイド活動。
- ・ 企画プロモーション。
- ・ ネットワーク(情報交換)。
- ・ 「共に生きる社会」について福祉サイドから障がい者の支援方法等の資料の提供またストレスが多い現代社会においてメンタルケアの参考資料等の提供ができる。
- ・ 地域づくりのノウハウ伝授。商品素材提供。
- ・ 単純な作業なら正確に大量にこなすことはできます。
- ・ (当団体利用者の) ジョブトレーニングの一環として、企業の業務の一部をお手伝いする。
- ・ 様々な出前授業の実施。
- ・ 場所(自然体験)の提供。自然体験のノウハウ。子どもの接し方など。
- ・ こども食堂を通した地域交流や食育活動の場の提供。
- ・ 施設、事業所等の消防計画や防災計画、避難確保計画作成支援など、地域防災活動の支援。
- ・ 農産物の提供。
- ・ 引きこもり等、一般社会と距離を置く人に対する地域的受け皿、自然環境を利した教育・体験プログラム。
- ・ 観光振興のノウハウ。
- ・ 職場の発達障害グレーゾーンにいる方(未診断書)の相談。
- ・ 乳幼児～子育て世帯向イベントでの集客。
- ・ SDGs の観点から海外の状況(避難民のキャンプやアフリカ、東南アジア等の発展途上国の状況等)を小・中・高の子ども・学生に伝え、視野を広げ、自分の将来の仕事についても考えてもらうといった活動。

(2) 協働相手に求めたいこと

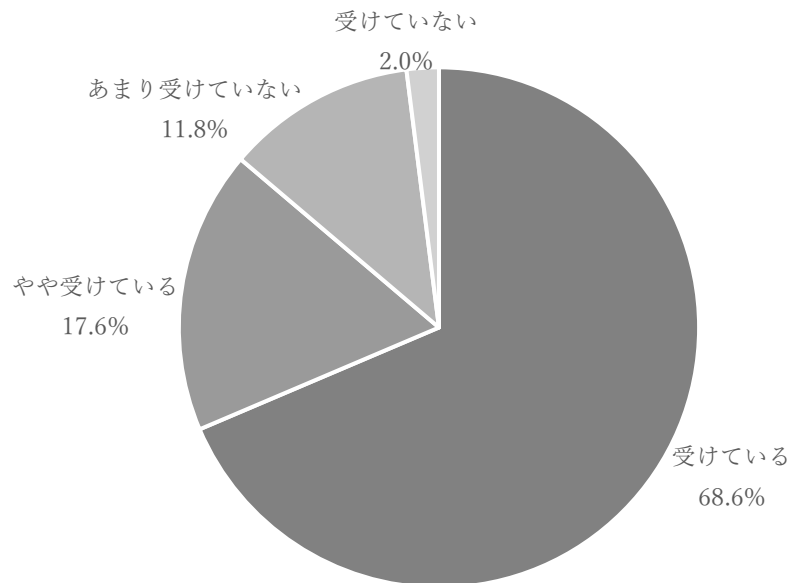
- ・ 社内のスポーツ(レクリエーション)による参画。
- ・ CSR、SDGs 活動の協働。
- ・ 立ち上げたフードバンクへの食料、日用品等の提供。
- ・ 社会教育の場の拡大や、今後の環境教育のあり方を協働で考えるしくみづくり。
- ・ 自社企画への広報と集客の協力。

- ・ イベント参加や運営フォロー。
- ・ 農作業ボランティア。
- ・ 生社会の創造に向けて人権問題等共に考え合う場への参加。
- ・ 農産物や作品(製品)の販売機会の提供。
- ・ 資金面の支援。
- ・ 発達障害への理解。
- ・ 当方で収穫した食材の加工、パッケージなどでの協業。技術、販売力による支援。
- ・ 障がい者雇用の促進。
- ・ 海外との交流。インバウンドの受け皿。
- ・ 新商品開発への参加。
- ・ 外部講師派遣。
- ・ 学校などに出向いて介護について話をするなど介護人材を増やすことへの協力。
- ・ こども食堂や自然体験などでの協力。
- ・ 広報(チラシの配架協力など)。
- ・ 技術的サポート(IT など)。
- ・ 異分野間での情報交換。

令和3年度 NPO と企業等のマッチング事業 事前アンケート集計(企業)

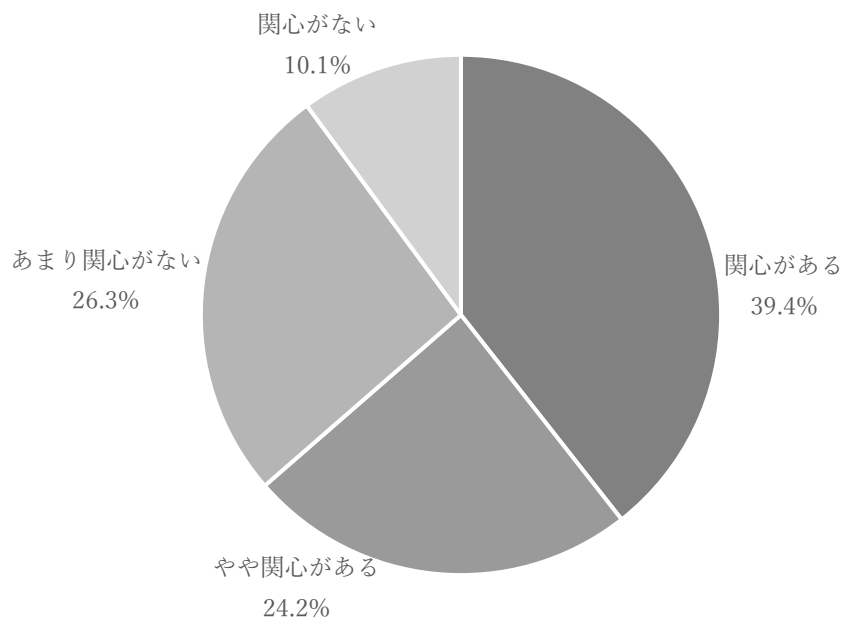
- 配布 1, 894箇所
- アンケート回答数 51社(回収率 2.7%)
- 質問事項と集計

1. 近年の社会変化(コロナ禍、気候変動、環境問題等)によって、貴団体は影響を受けていますか？
 - ① 受けている・・・・・・35件(68.6%)
 - ② やや受けている・・・・・・9件(17.6%)
 - ③ あまり受けていない・・・・6件(11.8%)
 - ④ 受けていない・・・・・・1件(2.0%)



2. 貴団体は、セクターを超えた協働(NPO との協働)に関心がありますか？

- ① 関心がある・・・14件(27.5%)
- ② やや関心がある・・・15件(29.4%)
- ③ あまり関心がない・・・12件(23.5%)
- ④ 関心がない・・・10件(19.6%)



3. セクターを超えた協働を行う場合、協働相手に協力できること、求めたいことはありますか？

(1) 協働相手に協力できること

- ・ 子ども食堂の支援。
- ・ 『子どもにお金の初歩』など老後の年金、相談。
- ・ 同じサービスを安く得る方法の伝授。
- ・ 音楽に関する事。
- ・ 農産物の生産や提供、自然豊かな地域における「場」の提供、「体験」の提供。
- ・ 法律やコンプライアンスについての助言。
- ・ 建築、不動産関連の情報、ノウハウ提供。
- ・ イベントへの協力。
- ・ キッチンカーのレンタル。
- ・ 告知、宣伝等。
- ・ イベント企画、運営、託児サービス。
- ・ 授業の一環として参画。
- ・ 農業体験の場の提供。

(2) 協働相手に求めたいこと

- ・ 若年層へのサービスの認知と利用促進。
- ・ 音楽を通じて中心市街地の活性化。
- ・ 企業から生まれにくいアイデアや仕事。
- ・ 人手。
- ・ 情報提供、共有。
- ・ 人権に関わるアプローチ(ノウハウ伝授)。

本事業の周知のために昨年度作成した「マッチング事例集」に、掲載の了解を得た事業3件を追加した。また事業の紹介を加え、「NPOと企業等のマッチング事業のご案内」として改訂した。

ふくしま地域活動団体サポートセンター

NPOと企業等とのマッチング事業 のご案内

さまざまな社会課題を抱える福島県内では、解決に向けて多くのNPOが活動しています。しかし、NPOは経営資源に限りがあり、単独では解決できない課題も少なくないのが実情です。

一方で企業経営においても、多様化する社会課題が経営環境に影響を及ぼしております。環境の変化への対応が必須となる中、従来とは異なる視点や情報が求められるケースも増えております。

こうした中、NPOと企業等との連携・協働の実現により、相互の得意分野を活かすことでそれぞれの組織運営に寄与するとともに、社会課題の解決を目指すことを目的に「NPOと企業等のマッチング事業」を実施してまいります。

「ふくしま地域活動団体サポートセンター」は県内NPOと企業への働きかけや仲介、「マッチング会」の開催などを通じて、マッチング成立に向けてのサポートを行います。

NPO **企業等**

社会課題の解決

地域の発展

自社・自団体の成長

社会の変化への対応

「NPOと企業等の「マッチング事業」では、セクターを超えた「協働」に関心を持つNPOや企業、学校などがお互いの得意内容を紹介し、お互いを知ることと連携の機会を採ることとを目的に、平成29年度より毎年1回「マッチング会」を実施しております。

「マッチング会」はこれまで主に4回（福島、山梨、協議会事務局）に分かれて開催してまいりました。NPOや企業等の活動と社会貢献の促進、そしてその活動における連携や協働事業の形成に向けてのアイデアを話し合う機会となっております。

令和2年度事業では、コロナ禍にもかかわらずNPOは延べ23団体、企業は延べ22社の参加があり、その中からさらに協働による事業プロジェクトが生まれています。

なお、ふくしま地域活動団体センターでは、必要に応じて「マッチング会」以降のフォローアップをを通じて参加されたNPOや企業等の連携、協働が促進されるよう、仲介や情報提供、また他の協力者とのコーディネートなどを行っております。

事例の概要	福島復興支援事業「ひまわり里親プロジェクト」を展開するNPO法人チームふくしまと、金澤県における商品の企画、販売を行う株式会社より、製品を「復興支援事業」 福島の民衆「赤べこ」や「能登のうし子」をテーマに、ひまわりの図柄をあしらった製品を金澤県で製作。 震災より大震災と原発事故より10年を迎える2022年3月11日より、中国・天津市の三越伊勢丹の店舗や「ひまわり里親プロジェクト」のサイトで販売されている。
連携主体	NPO法人チームふくしま（主催者） 株式会社金沢（金沢市）
それぞれの役割	商品企画を金沢で行われ、株式会社より、製品を「復興支援事業」 金澤の民衆「赤べこ」や「能登のうし子」をテーマに、ひまわりの図柄をあしらった製品を金澤県で製作。
成果	NPOと企業双方の主要な事業として活用により、新製品の開発を行った。これにより、NPOとしては「ひまわり里親プロジェクト」の、また企業としても「金澤県」の新たな展開が図られることとなった。

12

(2) NP0 事前講座

NP0 事前講座は、昨年度の参加 NP0 や企業へのヒアリングを踏まえ、これまでとは内容を変更し実施した。

従来の事前講座は団体のPRやプレゼンテーション資料作成、プレゼンテーションスキルの向上に焦点を当て、「アプローチ講座」「プレゼン講座」を実施してきた。しかし、NPOや企業へのヒアリングから、マッチング会やその後の連携・協働事業の成立においては団体のプレゼンテーション以上に個別の対話が役に立ったという意見が多かった。

そこで今年度は、団体紹介のシナリオ作りおよび資料作成については「アプローチ講座」でレクチャーを行うとともにマッチング会までの間の期間で個別にフォローアップを行った。また「プレゼン講座」では、マッチング会に参加を予定している企業のプロフィールや事業の特徴、マッチング会に対する参加者の思いなどを参加 NPO に伝え、プレゼンテーションにおける訴求ポイントなどをディスカッションした。

なお、新型コロナの感染拡大防止のため、「アプローチ講座」は透明のアクリル板やアルコール除菌、検温、室内の換気や湿度調整などによる対策を取って行った。またプレゼン講座はZoomを活用したオンライン講座として行った。

【NPO 向け募集チラシ】



NPOと企業等のマッチング事業

参加団体大募集！

令和3年度「NPOと企業等のマッチング事業」

参加申込書

※参加無料

近年、大規模災害の発生や新型コロナウイルス感染症によるパンデミックなど、これまで経験のない大きな社会情勢の変化により、NPO活動が非常に困難な状況になっています。この社会情勢の変化を前向きに捉え、積極的な多様な企業と交流して新たな視点とアイデアで困難な状況を乗り越えていきましょう！

アプローチ講座

過去のマッチング事例を参考にマッチングのノウハウを学びます。
 [自由参加]
 個人ワークグループでアプローチの内容を練習します。
 ※24(金)山形市 9/29(金)金沢市 9/30(木)福島県 10/4(月)いわき市
 ※開催時間と会場は裏面にをご参照ください。

プレゼン講座

マッチング会に参加する企業を想定して、プレゼン内容の仕上げを行う講座です。
 参加予定の企業と、どんなプレゼンが効果的かを学びます。
 11/4(月)14:00～12:00 飯沼会館
 11/4(月)14:00～12:00 飯沼会館
 11/10(火)14:00～16:00 企業家会館
 ※Zoomにて開催します。

マッチング会 (※地区別名称)

参加者プレゼン、ブーストーク(企業とNPOが1対1で対話)
 11/17(木)いわき市・いわき産業創造館・9時～6時
 11/19(金)山形市・山形市労働福祉会館
 11/24(金)金沢市・金沢市市民活動サポートセンター
 11/26(金)福島県・福島県市民活動サポートセンター
 ※各会場とも13:30～16:30まで「企業家会館」で開催ですが、お申し込みはあみだくし。

参加会場

マッチング会 時間等 13:30～16:30 ※定員 夜間会 10団体
 □ 11/17(木)いわき市・いわき産業創造館・9時～6時(企画展示室A)
 □ 11/19(金)山形市・山形市労働福祉会館(中会議室)
 □ 11/24(金)金沢市・金沢市市民活動サポートセンター(大会議室)
 □ 11/26(金)福島県・福島県市民活動サポートセンター
 ※開催の会場へ参加できますが、お申し込みはあみだくし。

企業との信頼

企業とのマッチングはマッチング会終了後が重要ですが、時間を置かずに積極的にアプローチしましょう。
 事務局でもアフターフォローを行います！

※オンライン開催が可能な企業に限り、またはお申し込み後にご相談ください。
 詳細は別紙「企業との信頼」をご覧ください。

申込期 令和3年9月21日(水)

※参加希望の講座、日程等をお選びいただき、ここにチェックを入れてください。

申込締切 9月21日(火) 17時まで(定員になり次第締切らせていただきます)

お申込みは、FAX またはお申込み専用フォームからお申込みください。

FAXの方はここにチラシに直接記入して送ってください。
FAX (024)523-2741

お申し込み専用フォーム
<https://forms.gle/8v8v8v8v8v8v8v8v>
 フォームから登録申し込みできます。

お問合せ先 ふくしま地域連携支援サポートセンター
 TEL(024)521-7333 メール f-matching@f-saposen.jp 担当 遠山 真樹

新型コロナウイルス感染症拡大の状況によりは開催日程や内容が変更になる場合があります。

【アプローチ講座】

9月29日(水) 会津アピオスペース 研修室

9月30日(木) 福島市市民活動サポートセンター A 会議室

10月4日(月) いわき産業創造館 会議室1

※ 9月24日(金)に予定していた郡山開催については、新型コロナまん延防止等重点措置の影響で中止した。

講座の内容

- ・ 参加者自己紹介
- ・ 事業の説明、マッチングの事例紹介
- ・ ワークシートの作成(団体紹介のシナリオ作り)
- ・ 作成したワークシートを踏まえたプレゼンテーションの実践練習

参加団体

① 会津会場

NP0 法人 ライフケア

NP0 法人 会津美里クラブ衆(しゅう)

② 福島会場

NP0 法人 チームふくしま

NP0 法人 南茶和(みなみさわ)

NP0 法人 市民活動ネットワーク南相馬

③ いわき会場

NP0 法人 ソーシャルデザインワークス

NP0 法人 なこそ授産所

アプローチ講座資料(ページ抜粋)

令和3年度NPOと企業等のマッチング事業



アプローチ講座

ふくしま地域活動団体サポートセンター

ふくしま地域活動団体サポートセンター(サポセン)

地域貢献や地域課題を解決する、NPO等による地域活動を支援する県設置の組織
→認定NPO法人ふくしまNPOネットワークセンターが受託して運営

(主な事業)

- ・ ニュースレターの発行やHPによる情報発信
- ・ 学生のNPOでの活動体験(インターンシップ)の仲介
- ・ NPOと専門家(税理士、社会保険労務士、司法書士など)の紹介
- ・ ふるさと・きずな維持・再生支援事業(助成金)の運営サポート
- ・ 各種講座(会社、組織運営、広報、SNSなど)の開催
- ・ **NPOと企業等のマッチング仲介**

NPOと企業等のマッチング事業
(目的)→NPOの運営支援
支援の形とは?

- ① 企業からの支援獲得
- ② 企業との強みの相互利用・弱点の相互補完
- ③ 企業との連携・協働事業など

▶ **何を目標とする?**

企業に自団体を理解してもらう→企業との**信頼関係**を築く

NPOと企業等のマッチング事業について

事業の目的

様々な社会変化
・ NPO→社会課題の解決に取り組むための経営支援の確保が課題となっている
・ 企業→経営環境の変化に対応するための知識やアイデアの獲得が有効である

NPOと企業等との連携・協働 → 相互の得意分野を活用、弱みの相互補完
(1) それぞれの組織運営に寄与
(2) 社会課題の解決を目指す

事業の流れ

NPO

企業との連携のコンを学ぶワークショップ

アプローチ講座

マッチング企業参加企業へのアドバイザーのポイントを学ぶワークショップ

プレゼン講座

マッチング企業参加企業へのアドバイザーのポイントを学ぶワークショップ

マッチング会

1. NPO企業による情報紹介
2. 個別相談

連携・協働

情報共有会

マッチング企業参加NPOがプラットフォームや活動内容を伝達する(共有は20分以内による実施を予定)

サポセンによるアフターフォロー、仲介

アプローチ講座

企業との連携を見据えた 取組紹介のコツの学習

マッチング会における自団体紹介の仕立て	企業の立場での視点	記載する内容
どんな団体なのか?	相手を理解する第一歩①	団体のプロフィール
どんな社会を目指しているのか?	相手を理解する第一歩②	団体の思い(ビジョン) ※ HP等に掲載しているビジョンをわかりやすくアレンジする方法もあり。
どんな取り組みをしているのか?	関係構築するための情報	活動実績
どんな特徴があるのか?	具体的な連携を模索するための情報	こだわりポイント
何が出来るのか?何が得意なのか?	自社が求めているものを持っているのかを知るための情報	アピールポイント、評価が高かった実績
何を求めているのか?	自社に支援できるものを求めているのかを知るための情報	自団体の弱みやニーズ

アプローチ講座

どんな団体なのか?

(記述例) ・ 団体名、事業概要 ・ 所在地(事務所、活動場所) ・ 規模(人員、拠点の数など)	
---	--

アプローチ講座

どんな社会を目指しているのか?

(記述例) ・ 取り組みを行うことになったきっかけ ・ 取り組んでいる社会課題	
---	--

アプローチ講座

どんな取り組みをしているのか?

活動実績(実施中のものも含む) (記述例) ・ 活動内容、これまでの実績 ・ 印象に残っていること ・ 取り組み前と後の変化	
--	--

講座の様子



■会津会場の様子



■福島会場の様子

【プレゼン講座】

- 11月4日(木) 10:00～12:00 郡山会場参加者向け
11月4日(木) 14:00～16:00 会津若松会場参加者向け
11月10日(水) 10:00～12:00 福島会場参加者向け
11月10日(水) 14:00～16:00 いわき会場参加者向け
すべて、Zoomにて実施

講座の内容

- ・ 参加者自己紹介
- ・ マッチング会の流れの説明
- ・ 参加予定企業の紹介
- ・ 参加する企業に対するプレゼンテーションのポイントの検討

参加団体

- ① 郡山会場参加者向け
NPO 法人 チームふくしま
NPO 法人 クローバー福祉会
NPO 法人 サポートクラブ・キャロット
- ② 会津若松会場参加者向け
NPO 法人 Lotus
NPO 法人 会津美里クラブ衆
一般社団法人 fukucier(ふくしえる)
- ③ 福島会場参加者向け
NPO 法人 南茶和
NPO 法人 ライフケア
NPO 法人 市民活動ネットワーク南相馬
- ④ いわき会場参加者向け
NPO 法人 いわき緊急サポートセンター
NPO 法人 なこそ授産所
NPO 法人 ソーシャルデザインワークス

プレゼン講座資料(ページ抜粋)

令和3年度
NPOと企業等のマッチング会

17
FUKUSHIMA
AMBA

プレゼン講座

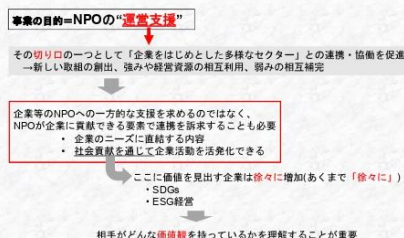
福島県
ふくしま地域活動団体サポートセンター

自己紹介

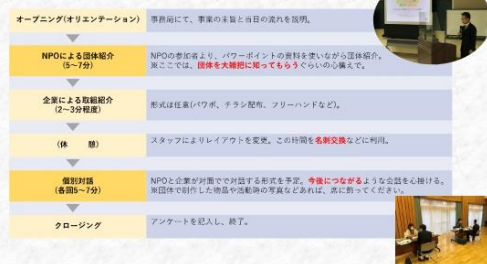
- ・団体名、氏名
- ・団体紹介(1分)
- ・どんな連携・協働を目指すか？

マッチング事業について マッチング会の流れ

NPOと企業等のマッチング事業について



マッチング会の流れとポイント



参加企業プロフィール (11/09時点)

株式会社いちい <https://www.ichi-yume.co.jp/>

プロフィール 所在地 〒960-2101 福島市さくら一丁目2番地の1
代表者 代表取締役 伊藤 信弘
事業分野 食料品販売、外食、移動販売等

主な事業内容 ■ スーパーマーケットいちい、フォーズマーケット等の運営
■ その他、「ペットショップ・ママ」「とくしん」「まいどおおいに食堂」など運営

その他コメント ■ 当事業には令和元年度より毎年参加。
■ 店舗を活用したNPOとの協働企画の実績あり(一部、新型コロナウイルス感染拡大により中止になったもの含む)
■ リサイクルボックスの設置や福祉作業所で制作された商品の販売コーナーの設置など、社会貢献にも熱心に取り組んでいる。



福島学院大学 <https://mph-kitakata-hakusidou.amebaownd.com/>

プロフィール 所在地 〒960-0181 福島市宮代乳児池1-1(宮代キャンパス)
代表者 理事長 堀田 葉子
事業分野 学校経営

主な事業内容 ■ 大学院、福祉学部、短期大学部設置

その他コメント ■ 福島市内2か所(宮代、本町)にキャンパスあり
■ 参加申込者は福祉学部の日下教授(専門分野は地域福祉、ボランティア、社会福祉計画)
■ 当事業以外に「チャレンジインターンシップ事業」に毎年学生が参加。今年度もら名が参加。



(3) 企業との情報交換会

企業との情報交換会は、企業等が NPO と連携、協働する意義や当事業の位置付け、内容についての理解を深めるために、昨年度からマッチング会の参加企業に対し実施している。今年度は、昨年度のマッチング会終了後に参加企業へヒアリングした結果、希望が多かった参加 NPO のプロフィールについての紹介を主に、NPO の成り立ちや特性、SDGs と NPO の取組の親和性などについて説明した。

なお、今年度も昨年度に引き続き、Zoom を活用したオンラインで実施した。

日時：令和 3 年 1 1 月 5 日(金) 13:30～15:30

実施手段：Zoom を活用したオンラインにより実施

情報交換会の内容

- ・ 参加者自己紹介
- ・ NPO の成り立ち、特徴についての説明
- ・ マッチング事業およびマッチング会の説明
- ・ 参加予定 NPO の紹介
- ・ 意見、感想

参加企業

MUSIC PLAZA 白水堂

いわき信用組合

株式会社 ニューメディア(NCV 福島センター)

常磐共同ガス株式会社

株式会社 福島中央テレビ

鈴木行政書士事務所

ikkohG's office

【参加者の意見、感想】

- ・ 当社はフリースクールを検討しているのでお話を聞いてみたい。
- ・ NPO の参加がもっと多くても良いかと思った。
- ・ 今まで NPO との取組は無いので、今回参加して参考にしたい。
- ・ 1 対 1 の対話時間をとっていただけるのは、じっくり話ができるのでありがたい。

- ・ 今回日程の都合で地元ではないマッチング会に参加するが、地元の NPO を紹介いただけるのか？

(回答) マッチング会後にアフターフォローを行う予定なので、そこで紹介できる。

- ・ 当社としては社会的弱者を支援したいと考えている。
- ・ 自社で取り組んでいるクラウドファンディングを NPO に PR したい。
- ・ 事前に参加する NPO が知れて良かった。
- ・ 企業の情報が参加する会場だけでなく全会場に伝わるか？

(回答) NPO 向けに参加企業のプロフィールをまとめた資料を配布し、Zoom 等で説明しているので伝わっている。

- ・ 時間が無い場合終わってからでも時間が取れるのは良い。
- ・ 当日配布するチラシを用意する必要があるか？

(回答) カラープリントで良ければ、事務局で用意する。

【企業向け募集チラシ】



NPOと企業等のマッチング事業

参加企業大募集！

企業のCSRやSDGsの取り組みの一環として、NPOとの協働を考えてみませんか？NPOは私たちが住む地域をもっと豊かにするために、地域課題の解決に向けた様々な取り組みを行っています。あなたの企業の力を地域課題解決のために役立ててみませんか？また、この交流により新たなビジネスのきっかけが生まれるかもしれません。ぜひご参加をお待ちしております。

情報交換会 11月5日(金) Zoomで開催、NPOに関する基礎知識、参加 NPO の概要など事前に知っておきたい情報を紹介します。

マッチング会開催日程

参加NPO、企業等による簡単なプレセッションの後、NPOと企業が直接対話する時間を設けます。お互いを知りたい場としてご利用ください。

11月17日(水) いわき市/いわき産業創造館ラトプ6階(企画展示室A)

11月19日(金) 郡山市/郡山市労働福祉会館(中会議室)

11月24日(水) 会津若松市/アビオスペース(大会議室)

11月26日(金) 福島市/福島市市民活動サポートセンター

※開催時間は各会場とも13:30～16:30です。

※複数の会場に参加できますが、お早めにお申し込みください。

※参加は無料です。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加人数は1社につき2名までとさせていただきます。

※定員になり次第締め切らせていただきます。

(各会場25名まで)

申し込み締切 令和3年11月1日(月)

主 催 / 福島県 令和3年度ふるさと・さすななび・再生支援事業 NPO、企業、学生等との連携・協力事業
事務局 / ふくしま地域活動団体サポートセンター (担当：通山・斎藤)

〒960-8043 福島県福島市中央8番2号 福島県自治会館7階
TEL.024-521-7333 FAX.024-523-2741
E-mail: f-matching@f-saposen.jp URL: https://fnp-matching.f-saposen.jp/
運営協力 / 福島県山形県 文化スポーツ部 文化政策課 推進室 / 指定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては開催の方法が変更になる場合があります。

送付先 メール f-matching@f-saposen.jp FAX (024)523-2741

令和3年度「NPOと企業等のマッチング事業」

参加申込書

※参加無料

御 社 名	
参加者氏名	※2名様まで
電話番号	
メールアドレス	※情報交換会はオンライン開催になりますので、必ず御記入願います。 オンライン会議について不明な点がある場合はお気軽に御相談ください。
参加会場	☐ 情報交換会 11/5(金) 13:30～15:30 Zoomを利用したオンラインでの開催です。
参加希望の会場をお選び頂き、口内にチェックを入れてください。 ※複数の会場に参加することができます。	マッチング会 時間帯 13:30～16:30 ※1企業2名様まで ☐ 11/17(水)いわき市/いわき産業創造館ラトプ 企画展示ホール A ☐ 11/19(金)郡山市/郡山市労働福祉会館 2階・中ホール ☐ 11/24(水)会津若松市/アビオスペース 1階・大会議室 ☐ 11/26(金)福島市/福島市市民活動サポートセンター

申込締切 令和3年11月1日(月)

(会場の都合上、定員になり次第締め切らせていただきます)

お申込みは、FAX またはお申込み専用フォームからお申込みください。

FAX の方はこのチラシに直接記入して送信してください。

FAX (024)523-2741

お申し込み専用フォーム

QRコードを読み込んで、お申し込み
フォームから直接お申し込みできます。



お問合せ先 ふくしま地域活動団体サポートセンター
TEL(024)521-7333 メール f-matching@f-saposen.jp 担当 通山・斎藤

プレゼン講座資料(ページ抜粋)

令和3年度
NPOと企業等のマッチング会

企業情報交換会

① 「NPO」について
② マッチング会の進め方について
③ 参加予定団体について

ふくしま地域活動団体サポートセンター



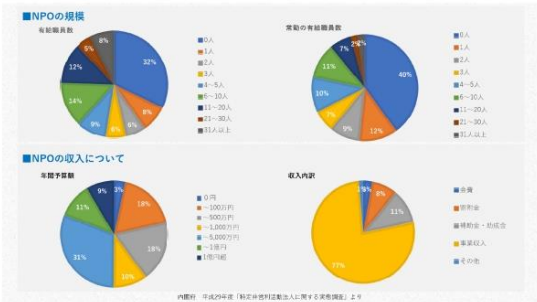
日本のNPO

阪神淡路大震災 (1995年1月17日) → ボランティアの活躍 → 民間ボランティアネットワーク組織に多くの寄付金が集まる → 受け皿として、会計の透明性を確保できる「法人」の必要性 → 特定非営利活動促進法の成立 (1998年施行) → 特定非営利活動法人 (NPO法人) の誕生

東広島の「NPO」は、NPO法人以外にもNPO法人に類する取り組みを行う組織も含まれる。

アメリカのNPO

NPOの起こり＝宗教家による慈善活動 → 1960年代 社会政策として公的部門に組み込まれる → 1980年代(レーガン政権時代) 財政赤字の増大＝社会保障費の削減、規制緩和・事業型として廃止(宗教関連も除外) → 市民公益の考え方 (自分たちの利益だけでなく) → 税制の優遇 → 寄附文化



NPOの活動分野とSDGsとの関係性

NPOの活動分野

- 1. 環境・気候変動対策の推進を図る活動
- 2. 社会問題の改善を図る活動
- 3. まちづくりの推進を図る活動
- 4. 福祉の改善を図る活動
- 5. 高齢・高齢者又は若者の福祉の改善を図る活動
- 6. 労働、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- 7. 国際交流の推進を図る活動
- 8. 文化芸術活動
- 9. 防災減災活動
- 10. 人権の保護又は平等の推進を図る活動
- 11. 国際協力活動
- 12. 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
- 13. 子ども・若者の健全育成を図る活動
- 14. 情報化社会の発展を図る活動
- 15. 科学技術の振興を図る活動
- 16. 経済活動の振興を図る活動
- 17. 産業振興の推進又は雇用機会の拡充を支援する活動
- 18. 消費者の保護を図る活動
- 19. 社会生活に資する活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助成又は援助の活動
- 20. 社会生活に資する活動に関する活動として経団連等又は関係機関の共同で定める活動

SDGsの17個の目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1. 貧困 2. 飢餓 3. 健康と福祉 4. 質の高い教育 5. ジェンダー平等 6. 清潔な水と衛生 7. 再生可能エネルギー 8. 持続可能な産業 9. 持続可能な消費と生産 10. 気候変動 11. 持続可能な都市とコミュニティ 12. 持続可能な消費と生産 13. 気候変動 14. 海洋資源 15. 陸域生態系 16. 平和と正義 17. パートナーシップ

※ 関係するものも示す

**マッチング会
参加NPOの紹介**

いわき会場(11/17)

団体名 **NPO法人 いわきの森に親しむ会**

所在地・活動地域 いわき市

主な取組内容 いわき市・国本を拠点に、森林の保全や登山観察コースの整備・維持管理および自然案内人の育成などを実施。

コメント 企業などでも活用できる研修施設等が揃っており、自然と触れ合いながら仕事を行う「ワーケーション」のような活用も可能。また従業員が余暇の過ごし方やレクリエーションなど様々な活用が見込める。

団体名 **NPO法人 なこそ授産所**

所在地・活動地域 いわき市

主な取組内容 障がい者支援(生活介護、就労移行支援B型事業所、グループホームなど運営)

コメント 知的障がい者の障がい程度やニーズに応じた様々な施設運営・取組を実施。特に「しあわせみそ」の製造・販売に力を入れている。

いわき会場(11/17)

団体名 **NPO法人 いわき緊急サポートセンター**

所在地・活動地域 いわき市

主な取組内容 子ども支援、子育て支援、高齢者支援

コメント イトヨーカードー平店で、「すくのが広場」という子どもの預かりサービスを行っていた。子どもを預かるとともに、子育て中の保護者の悩みの相談対応なども行っていた。ヨーカードー閉店に伴い、今年度はラブアリスに移転して取組を継続している。

団体名 **NPO法人 ソーシャルデザインワークス**

所在地・活動地域 いわき市

主な取組内容 障がい者支援

コメント 障がい者の生きがいづくりを目的とした取組を、いわき市2か所を含め全国5か所で開催。また「ごちゃまぜまづくり」という共創社会を目指した取組も行っている。

(4) NPO と企業とのマッチング会

■ 実施概要

「NPO と企業とのマッチング会」は、11月17日から同26日にかけて、県内4会場で実施した。

形式はまず NPO が団体紹介を行い、取り組んでいる地域課題や連携ニーズについて企業に情報提供した。続いて今年度は参加企業からの事業紹介を加え、マッチング会への参加の目的や提供できるリソースなどについて情報提供を行った。

後半は従来通り、NPO と企業が1対1で対話する時間を設けた。

■ プログラム

- ① 開会、マッチング会の趣旨および進め方の説明
- ② 参加者自己紹介
- ③ NPO による団体紹介
- ④ 企業による事業紹介
- ⑤ 個別対話
- ⑥ 今後のアフターフォローの説明、閉会

■ 各会場の実施状況

【いわき会場】

日時：令和3年11月17日(水) 13:30～16:30

場所：いわき産業創造館 企画展示室 A

参加 NPO

NPO 法人 チームふくしま

NPO 法人 いわき緊急サポートセンター

認定 NPO 法人 なこそ授産所

NPO 法人 いわきの森に親しむ会

NPO 法人 Lotus

NPO 法人 ソーシャルデザインワークス

参加企業

株式会社 日本政策金融公庫(いわき支店)

株式会社 福屋呉服店

有限会社 ABC いわき

いわき信用組合

合同会社ジーアール福島

参加者からのコメント

〈NPO〉

- ・ 新たな出会いをいただけて感謝いたします。企業の皆様も熱い思いをもって仕事されている事を感じました。
- ・ いろいろな企業の方の持ち味を聴いて、ぜひ NPO の不足する分野に協力していただけたらと思いました。
- ・ いわき市内の企業や他の NPO の方々の情報、想いや考え方を聴くことができ、有意義な時間でした。
- ・ 楽しく参加させていただきました。
- ・ いわき市内の横のつながりをつくるための働きかけを期待しています。
- ・ 企業数、時間がちょうどよく、次へのつながりが出来ました。NPO としてゆっくり胸を張って話せる機会でした。

〈企業〉

- ・ 社会課題に取り組む皆様の貴重な意見をお聞きできました。大変有意義な時間でした。
- ・ 参加者の熱い意欲を感じました。
- ・ マッチングの時間が短く感じました。
- ・ NPO の方々の様々な取組を改めて知ることができました。
- ・ もっと多くの方々に NPO のすばらしさを知ってもらいたい。

【郡山会場】

日時：令和3年11月19日(金) 13:30～16:30

場所：郡山市労働福祉会館 中会議室

参加 NPO

NPO 法人 ビーンズふくしま(郡山事業所)

NPO 法人 CHANT(COLORFUL)

NPO 法人 チームふくしま
NPO 法人 サポートクラブ・キャロット
NPO 法人 子ども緊急サポート郡山
NPO 法人 クローバー福祉会
NPO 法人 キャリアデザイナーズ

参加企業

ikkohG's office
鈴木行政書士事務所
トラスホーム株式会社
ソニー生命保険株式会社
ランドマークグループ
株式会社 日本政策金融公庫(郡山支店)

参加者からのコメント

〈NPO〉

- ・ 積極的に話を聴いていただく企業ばかりでありがたく感じました。これからの可能性を感じながら進めていきます。
- ・ 企業の方と出会えてよかったです。
- ・ 障がいがあると生きづらい状況を改善し、普通の生活が送れるようにしたいですね。
- ・ 企業の方々と実際に話をし、交流のきっかけを作ることが出来ました。今後しっかりと関係を作っていきたい。
- ・ 新しい情報をたくさんいただけると刺激になります。
- ・ 様々な方の想いや意見がうれしかったです。
- ・ 障がい者の現状を知っていただける機会を設けていただきありがとうございました。

〈企業〉

- ・ 様々なご家庭やお子様がいらっしゃる事が分かりました。
- ・ 短いトークの中でも NPO の現状を知ることが出来ました。
- ・ 今日得た情報を、いろいろなところで PR していきたいと思えます。
- ・ 興味深いお話をお聞きすることができ、有意義な時間でした。

【会津会場】

日時：令和3年11月24日(水) 13:30～16:30

場所：会津アピオスペース 大会議室

参加 NPO

NPO 法人 CHANT (COLORFUL)

一般社団法人 fukucier (ふくしえる)

NPO 法人 会津美里クラブ衆

NPO 法人 Lotus

参加企業

有限会社 白水堂・喜多方店

株式会社 布分

株式会社 タケウチパーツ

常磐共同ガス株式会社

株式会社 日本政策金融公庫(会津若松支店)

参加者からのコメント

〈NPO〉

- ・ ご参加の方々の思いをカタチにと強く感じました。
- ・ 財源確保についてのアドバイスやぜひ体験してみたいとお声がけなどをいただき、実りある時間となりました。積極的に売り込みをしていきたいと思います。
- ・ 話しやすい雰囲気になり、ありがたいと思いました。
- ・ 地元企業にプレゼン出来て良かった。事業が多いので時間が足りなかった。
- ・ 他地域にも参加しましたが良い刺激になりました。
- ・ 企業の方や他の NPO の方のお話がうかがえ、見聞が広がりました。

〈企業〉

- ・ NPO 法人の理解が深まり、新たな出会いもあり良い機会をいただきました。
- ・ 普段聞けない NPO の話を聴けて良かったです。今後も参加したい。
- ・ 大変良い機会でした。ありがとうございました。

- ・ 自分たちの知らなかった世界が見られてとても有意義な時間になりました。

【福島会場】

日時：令和3年11月26日(金) 13:30～16:30

場所：福島市市民活動サポートセンター 多目的ホール

参加 NPO

NPO 法人 ビーンズふくしま(福島事業所)
NPO 法人 桑折町共に生きる社会を創る会
NPO 法人 青空保育たけの子
NPO 法人 チームふくしま
NPO 法人 市民活動ネットワーク相馬
NPO 法人 ライフケア
NPO 法人 南茶和
一般社団法人 fukucire(ふくしえる)

参加企業

株式会社 いちい
伊達貨物運送 株式会社
株式会社 日本政策金融公庫(福島支店)
鈴木行政書士事務所
株式会社 ニューメディア
株式会社 アトリエオレンジ
未来農業株式会社

参加者からのコメント

〈NPO〉

- ・ 普段は自分の事務所の経営で毎日疲れていて、他のことを考える余裕がないが、今日のような機会があると他の事業所のがんばりが十分に感じ取られ、まだまだ頭を使って努力しなくてはと思う。
- ・ ある企業から販売の機会の話がありありがたいと思っています。これからゆっくり考えていきたい。
- ・ 普段なかなか聞けないようなお話も伺えてとても勉強になりました。

- ・ いい出会いがたくさんありました。
- ・ 「出会ってみなければわからない」 今後に希望を感じました。真の復興につながるものを様々な立場から生み出されることを期待します。
- ・ マッチング会を通じて自分自身のプレゼンのしかたが向上して良かったです。
- ・ 企業のプレゼンもあったことは良かったと思います。
- ・ 企業だけでなく NPO 同士でも出会う機会がありましたこと、ありがとうございます。
- ・ 話を聴いていただき、現状を分かっていただけで良かったです。

〈企業〉

- ・ 様々な活動に感激、感銘したとともに、現状の課題を知りました。社として協力できることを見つけ、アクションを起こしたいと考えています。
- ・ 今後も地域企業として、できる限りやれることをしっかりやっていきたいと思います。「自分事」として地域の課題に向き合ってまいりたいと思います。
- ・ 今後の業務に生かしていきたいと思います。
- ・ 何か新しいことを生み出していくときに関われたら良いなと思いました。名刺をいただけただけでも収穫でした。未来に向けてきっかけになると思います。
- ・ 初めての参加でしたが、NPO さんと直接お話しすることで一緒に取組をするイメージが湧きました。今後の取組に生かしていきたいと思います。
- ・ 有意義な時間となりました。

マッチング会の様子

■ 11月17日 いわき会場



オリエンテーションの様子



ブースでの個別対話の様子

■ 11月19日 郡山会場



NPO による団体紹介



企業による事業紹介

■ 11月24日 会津会場



NPOによる団体紹介



ブースにて制作物を紹介

■ 11月26日 福島会場



NPOによる団体紹介



ブースでの個別対話の様子

参加 NPO のプレゼン資料

教育

～全国の教育現場で『絆』のひまわりが活用されています～

子ども達が授業や生徒会活動、ボランティア活動の中で育て、花を咲かせ、採れた種を福島に送り返すことで被災地の復興の手助けとなり、このひまわりを育てることを通じ、人権教育、道徳教育、地域や学校間での『絆』づくり、震災教育に繋がっております。

学校法人石川高等学校の美術部の生徒が、プロジェクトをきっかけに、全国のプロジェクト参加学校などに無料配布。

福島県教育委員会発行「ふくしま道徳教育資料集 第1巻」に掲載

新編国語の教科書『新編国語 読解づくりの教科書 理科実験の教科書 2年』に掲載

9 福島ひまわり支援プロジェクト

観光

～ひまわりを活用した各種イベントを開催～

- 県内にたくさんのひまわり畑
星野さんから頂いたひまわりの種を県内各位の団体や個人に贈呈。2012年から配布を始め、2019年度までに25万袋以上を配布。福島県内各地にひまわりが咲き、観光名所となりました。
- ひまわり結婚式
『絆』の種を蒔き、育った満開のひまわり畑の中で挙式する「ひまわり結婚式」を実施しています。
- ひまわり甲子園
『震災があったからこころなれた物語』を発表するひまわり甲子園。各地方で開催される地方甲子園の代表者、福島県代表者がプレゼンを行う他、陸の寄贈式、全国と福島県内の皆さんとの交流会などを実施しています。

10 福島ひまわり支援プロジェクト

2.みんなの食糧庫

BLTカフェ前には、スチール棚と冷蔵庫が置かれていて、こちらには、不用品や食料品、食材を置いていき必要の方が自由に持ち帰る。ある方は、隣のセブンイレブンを5,000円相当の食材を買わうと、農家さんが丹精込めて育てた野菜や果物を棚に置いていく。こちらも連鎖が始まっていて広がりを

13 福島ひまわり支援プロジェクト

3.お互い様の町ふくしま

1.お互い様の街ふくしま

BLTカフェでは、ペイフォワード（感謝）のシステムを取り入れています。これは、これから来る見知らずの方のために食事代を先払いするもの。それは、正に相手を思いやる行為。そうすることで、『お互い様の街』を作るきっかけとなる。まずは、福島県でこのシステムを活用する100店舗にして、各都道府県をそれぞれ100店舗として最終的には、全国で4,700店舗を目指す。現在、福島市にて3店舗が実施。

12 福島ひまわり支援プロジェクト

2.みんなの食糧庫

BLTカフェ前には、スチール棚と冷蔵庫が置かれていて、こちらには、不用品や食料品、食材を置いていき必要の方が自由に持ち帰る。ある方は、隣のセブンイレブンを5,000円相当の食材を買わうと、農家さんが丹精込めて育てた野菜や果物を棚に置いていく。こちらも連鎖が始まっていて広がりを

13 福島ひまわり支援プロジェクト

4. トピックス

(1) 国内はもとより海外からも注目されるプロジェクト

2014年、2015年フジテレビが主催するお台場のイベント会場にてプロジェクトのひまわり栽培。イベントでは、隣がい書福地作業所の方やプロジェクトに参加する子どもたちの「ひまわり」の歌を披露された。フジテレビの種は、福島県内随所に寄贈され、福島空港メガソーラーで栽培。

海外の各メディアからも多数取材

14 福島ひまわり支援プロジェクト

(2) ひまわりバス運行（協力：福島交通株式会社）

ひまわりバスは、全国の串刺さんから送っていただき、福島県内で咲かせたひまわりから採れた種から油をつくり、それをバイオディーゼルの燃料として走らせるものです。福地にやさしいこのエネルギーは、福島県の皆さんと全国の方々の想いを集めて、2台の福島市内循環バスに使用されています。～障がい者福祉作業所の雇用に繋がっています～

15 福島ひまわり支援プロジェクト

(3) 震災後激減した教育旅行のきっかけに

- 修学旅行 ～東京都立葛飾高等学校～
プロジェクトがきっかけになり東京都立葛飾高等学校の生徒の修学旅行の行き先が福島に。生徒の一人は、福島出身で震災後東京に避難して、転校後は福島県立高等学校に通っていて、平成27年度の修学旅行では、元同級生たちとの交流も生まれました。
- 被災地訪問 ～福井県福井市PTA連合会・鯖江市立待小学校～
福井県福井市PTA連合会・鯖江市立待小学校の皆さんが、福島県を訪れ、避難地域になっている、川俣町山本町地区の皆さん、市町の仮設住宅で歌と道いメッセのプレゼントをいただきました。

16 福島ひまわり支援プロジェクト

(3) 全国から届けられた応援メッセージ、アーカイブ化へ向けて寄託
 これまでに全国から届いた約2万通以上の福島復興応援メッセージをアーカイブ化し、未来へ伝承・伝達していきます。
 2020年9月に福島県双葉町に開設しました「東日本大震災・原子力災害伝承館」に応援メッセージを展示いただいています。



1メッセージをアーカイブ箱に寄託(2017年7月)

17 福島ひまわり支援プロジェクト

(5) 南東北インターハイ(2017年) 福島市の会場にひまわりのプランター設置
 南東北インターハイ(2017年)の会場の1つになっていた福島県福島市のあづま総合体育館にひまわりのプランター40個を設置し、会場を訪れた全国の選手の皆さんを歓迎しました。



18 福島ひまわり支援プロジェクト

(6) 東京2020オリンピック 聖火ランナーに理事2名選出



2019年12月18日
 福島民報 掲載記事

19 福島ひまわり支援プロジェクト

(7) ひまわり甲子園 全国大会 ～ひまわりによる感動の物語～
 関東・東海・信州・北陸・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄地区の地方大会により選抜された全国各地の代表者が福島に集結し、プロジェクトを通して生まれた「感動の物語」を発表します。



20 福島ひまわり支援プロジェクト

(8) 主な受賞歴

- 2013年 12月 パナソニック教育財団主催 “こどもたちがこころを育む活動” 奨励賞
- 2014年 3月 福島県・福島民報社・福島テレビ 共催 「ふくしまから はじめよう。」 奨励大賞
- 12月 復興サテライト・コミュニティの震災復興支援 Revive Japan Cup 2014 ライフスタイル部門「新しい暮らし」復興サテライト 入賞
- 2015年 11月 公益財団法人あしたの日本を創る協会、NHK、読売新聞東京本社主催 「あしたのまち・くらしづくり活動賞」主催者賞
- 12月 環境省主催 「第3回グッドライフアワード」 環境大臣 グッドライフ特別賞
- 2016年 11月 公益財団法人 社会貢献支援財団主催 「第4回 社会貢献奨励賞」 奨励賞
- 2017年 11月 「新しい東北」復興推進協議会主催 「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2017 企業賞 損保ジャパン日本興亜賞
- 2018年 2月 福島民報社主催 「第5回ふくしま産業賞」 特別賞
- 3月 社会生命保険相互会主催 第11回「未来を築く子ども育ててプロジェクト」子育て支援活動の表彰 スミセイ本賞
- 11月 一般社団法人日本銀行会 「平成30年度秋季表彰」



21 福島ひまわり支援プロジェクト

○第47回社会貢献者表彰



2016年11月28日
 公益財団法人社会貢献支援財団 会長 安倍昭恵様より表彰状を拝受いたしました。
 このプロジェクトの活動にご賛同いただいております全国の皆様と一緒に頂いた賞です。



22 福島ひまわり支援プロジェクト

○「新しい東北」復興ビジネスコンテスト
 2017年11月8日
 「新しい東北」復興ビジネスコンテスト 企業賞 損保ジャパン日本興亜賞をいただきました。

【損保ジャパン日本興亜様より評価コメント】
 「ひまわり」を福島の復興のシンボルとするこのプロジェクトが、障がい者の雇用、学校の道徳教材としての活用につながり、さらには地域の観光振興の実現に向けて取り組まれている点を高く評価しました。今後の更なる発展に期待しています。



23 福島ひまわり支援プロジェクト

○損保ジャパン日本興亜株式会社様
 ゴッホ「ひまわり」とのコラボイベント
 2018年6月2日
 「新しい東北」復興ビジネスコンテスト 企業賞 損保ジャパン日本興亜賞をいただいたことをきっかけに、損保ジャパン日本興亜株式会社様が所有する、「ゴッホ」ひまわりとのコラボイベントを開催。

【イベントの内容】
 ・ひまわりの種まき
 ・ゴッホ「ひまわり」の前で「ひまわり」合唱



24 福島ひまわり支援プロジェクト

○第3回ふくしま産業賞
2018年2月16日
「第3回ふくしま産業賞」特別賞をいただきました。



2017年12月8日(金)
福島民報 掲載記事



2018年1月10日(水)
福島民報 掲載記事

25 福島ひまわり里親プロジェクト

○第11回「未来を強くする子育てプロジェクト」
2018年3月12日
住友生命保険相互会社主催の第11回「未来を強くする子育てプロジェクト」子育て支援活動の表彰において、「スミセイ未来賞」をいただきました。



2018年3月13日(火)
福島民友新聞 掲載記事

26 福島ひまわり里親プロジェクト

○日本善行会「平成30年度秋季善行表彰」
2018年11月17日
一般社団法人日本善行会が行っている「秋季善行表彰」をいただきました。




授与された表彰状と賞行庫

27 福島ひまわり里親プロジェクト

(9)～福島県教育委員会を通じ、小中学校700校へ「ひまわり」CD 寄贈～
2012年、福島県立江刺市立待小中学校当時3年生だった子どもたちが作った復興応援ソング「ひまわり」を録音したCDが福島県内の小中学校700校に配布されることになり、福島県教育委員会様にCDとプロジェクトの生い立ちやひまわりを通して生まれた物語が詰まったコミック「福島ひまわり里親プロジェクト物語～チームふくしまの軌跡～」を寄贈しました。
寄贈されたCD700枚とコミックは、福島県内すべての小中学校に配布され、道徳の教材として活用されます。

- 日 付：2018年3月12日
- 場 所：福島県庁
- 寄贈物：「ひまわり」CD…700枚
コミック…700冊




28 福島ひまわり里親プロジェクト

参加教育団体（一部）

福島ひまわり里親プロジェクトは、福島県内の小中学校700校に配布されることになり、福島県教育委員会様にCDとプロジェクトの生い立ちやひまわりを通して生まれた物語が詰まったコミック「福島ひまわり里親プロジェクト物語～チームふくしまの軌跡～」を寄贈しました。寄贈されたCD700枚とコミックは、福島県内すべての小中学校に配布され、道徳の教材として活用されます。

29 福島ひまわり里親プロジェクト

5. プロジェクトのこれから

広島のように、ひまわりを福島のシンボルに



広島平和記念公園



福島のひまわり

広島のように、ひまわりを復興のシンボルとして定着させ、日本だけでなく、海外からも福島に「学び」に訪れる町にしていきたい。プロジェクトを、教育旅行のきっかけにして、福島の観光の力になるとともに、それを通して、障がい者の皆さんのお仕事を応援します。

また、ひまわり記念碑を建て、このプロジェクトをサポートして頂いた全国の皆さんの名前を記し、未来の子供たちが、祖父・祖母が応援した「福島」「ひまわり」を見て、思いやりや心を育み、この活動と震災を伝えていきたいと思っています。

欧米人観光客比率
第一位 広島県（78.3%）
外国人に人気の日本の観光スポット
（2013）第1位 広島平和記念資料館

30 福島ひまわり里親プロジェクト

福島ひまわり里親プロジェクトは、
福島と全国の『絆』づくりとして
雇用対策として
教育対策として
観光対策として
震災の風化対策として
これまでも、これからも
復興のシンボルとして
震災と福島を伝えるきっかけにしていきたいと思います。



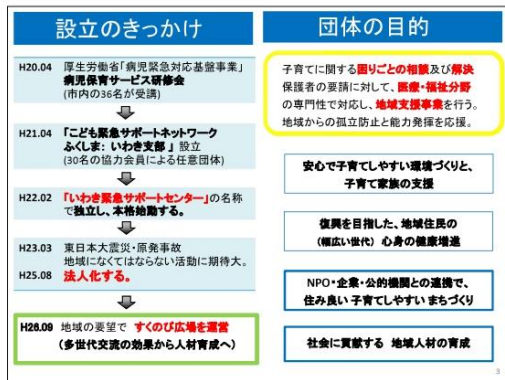
マスコットキャラクター
たけくん

31 福島ひまわり里親プロジェクト



特定非営利活動法人 チームふくしま
<http://www.sunflower-fukushima.com>

32 福島ひまわり里親プロジェクト



- ### NPOの特性と強み
- 多様性** NPOは、社会的課題の多様化・複雑化したことに対応します。独自の価値観に基づき、幅広い分野で課題解決をめざします。様々な課題に取り組み、多様な社会サービスを生み出します。
 - 専門性** NPOには、社会的使命に共感し職域を越えて様々な経験や専門知識を持った人材が豊富に存在するとされます。継続的に活動していると専門性や独自のノウハウの蓄積があります。
 - 先駆性** 行政などが制度的に対応しにくい社会の実情や課題に対して、先駆的に取り組みます。目前の課題に向けて果敢に行動し、地域の理解や賛同を受け、行政が事業化、制度化もあります。
 - 柔軟性** NPOは、必要な場所・地域に対し、独自の方法で支援サービスを提供します。その状況に応じて、臨機応変に行動できる柔軟性を持ち、制度にない場合もサービスにつなげ、実現をめざします。
 - 地域性** 地域密着でニーズを的確にくみ取り、住民の視点から活動します。優れた現場感覚と行動力は、行政区域(管轄など)を越え、求められる家庭や地域へ向かい、必要なサービスを提供します。

地域、市民、参加者の反応や変化

利用者の声

- 大震災や原発問題、台風被害やコロナ禍でも連絡が取れ、活動しているので感謝しました。私たちの力強い味方です。
- 育児に疲れた時、子どもを遊ばせたい時、どんな時でも笑顔で迎え入れてくれるから、ホッとします。相談できることに感謝です。
- 助産師さん、栄養士さん、歯科衛生士さんと連携するのは他にないので心強いです。
- 祖父母だけに子どもを預けて不安でしたが、ネットワークや紹介が豊富なのでうれしい。
- イベントがあると、それに合わせて家族の外出の計画を立てています。もう 生活の一部になっています。

インターン生の感想

- 短い時間に多くのことを経験できて、将来の進路を決めることができました。
- 普通のアルバイトではなかなか経験できない貴重な人との関わりを学べて良かったです。
- 自分に自信がなかったのですが、経験を増やすことができ、自分の将来を考えるヒントになりました。感謝です。

★ラフ・教育委員会・アリオスから

- 専門知識や制度を考えた活動なので、赤ちゃんと高齢者まで対応がいい。
- 地域から好評なので、場所を無償提供しています。常に課題を考えていて感心。



私たちの地域への思い、考え

▲地域での問題・困った

- 度重なる災害・不安・心労
- 就労・再建・不安定な生活
- 情報過多で混乱、解決困難、判断や自己責任の重圧
- 相談する場・居場所がない
- 支援情報を得る機会がない
- 緊急時の子どもの預け先 (緊急時＝家族の通院時や体調不良など)

◎めざしたい地域の姿

- 住民たちが支え合い、認め合い安心して暮らせる地域
- 正確で安心な情報を得られる交流できる場がある地域
- 公的機関でなく気軽に相談できる専門的支援が受けられる地域
- 自分らしく、生きがいを持ちながら緊急時にも頼れる地域

地域の課題解決を目指しています！

活動紹介

- ・依頼会員に対し、365日24時間対応
- ・子育て相談・健康相談・他団体紹介など
- ・いわき市病児・緊急対応強化事業の受託
- ・ホームページ掲載による広報
- ・専門家による相談紹介のネットワーク (看護師・助産師・保育士・管理栄養士・歯科衛生士・体操指導士・ヨガ講師他)
- ・すくひ広場運営、片親支援、就労支援

- ・病児、発達障がい児、待機児童を含む子どもの一時預かりと宿泊の提供。
- ・おとな・子どものリフレッシュと不安解消。
- ・若者サポート連絡会の開催
- ・地域ボランティアを歓迎し、支援者育成。
- ・学生インターンシップの受け入れ
- ・学校や施設への協力・連携。

企業との協働に向けて

★協働(パートナーシップ)とは、

- ◎ 共通課題や目標に対し、その解決や達成のため、協力し合うこと。
- ◎ 目的達成のために自社が単独で活動するよりも相乗効果が望める。
- ◎ コスト・労力・時間・場所・手段・内容・専門性などの観点から、可能な規模と予算などで、よりうまく、効率よく、期待する成果が得られること。

～ お互いの願いや課題をすり合わせることで重要 ～ と私たちは考えます。

企業にとってのメリット	私たちの願い
★ 企業のイメージアップ。	★ 企業やスポンサーとお互いの強みを生かして、地域を活性化したい。
★ 雇用の創出 / 経済の活性化。	★ 人材育成を兼ねた交流と労力提供。
★ 企業の社会的責任と福利厚生を果たす	★ 資金調達(助成金・企業寄付)
★ ビジネスとネットワークの両立で協力者や新たな雇用を獲得、新規事業の促進。	★ 専門性や経験、ノウハウの提供で、協働事業・地域サービスの実現に向け、その価値を向上させたい。
★ 社員の社会への理解。	
★ 販売意欲や接客サービスの向上。	

[認定 NPO 法人 なこそ授産所]

認定特定非営利活動法人 **なこそ授産所**



胡口由利恵・藁谷美智江

団体紹介

「授産所とは？」

私身に障害があり一般企業に就職することが難しい人が、**自立した生活**を目指して働く施設です。

私たちは、障がい者と幼児に対して、地域の中で**自立した生活**を送るための**支援と子供たちの健全な育成**に関する事業を行い、地域社会の福祉増進に寄与することを目的に活動しています。

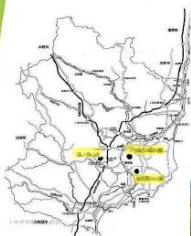
障がい者も社会の一員として、仕事をし社会性を育て達成感を自信につなげるように支援することをこのがけをしています。

団体名	認定特定非営利活動法人 なこそ授産所	昭和53年	いわき学園建設 機会の平等により立上げ
代表	胡口トナリ	昭和55年	町民協賛制度に「なこそ授産所」立上げ
本部所在地	〒974-8252 いわき市仁井田東1丁目9-1	平成5年	「こども育ち地域社会」の創出に障害児発達障害者も機会の平等に上げ
正会員	機関18名 保護者30名 ボランティア28名	平成6年	商品品出し作りをも始めに着手
賛助会員	企業40件 個人110名	平成11年	NPO法人設立（特定非営利活動法人 なこそ授産所）
本部	自立生活支援センター 生活15名 就労10名	平成21年	池田の事業所と一緒に「自立生活支援センター」立上げ
ほたる作業所	なこそ 就労10名	平成24年	震災被害のため「みなとまち」建設
		平成26年	法人NPO法人となる
		平成27年	「みなとまち」完成
		平成29年	グループホーム「アットホームさくら」建設、利用開始
		平成31年	法人NPO法人更新

[illegible][illegible]

[NPO 法人 いわきの森に親しむ会]

NPO法人いわきの森に親しむ会



湯ノ岳エリア

- 総合的な自然体験活動の拠点フィールド(約15ha)
- 場所: いわき市常盤藤原町

21世紀の森エリア

- 自然観察を行いながら環境を学習できるフィールド(約5ha)
- 場所: いわき市常盤本町21世紀の森公園内(アザミの森)

若出エリア

- 昔の田んぼ、畑、溜池、神社、雑木林が残り、昔の里山での体験ができるフィールド(約9ha)
- 場所: いわき市小浜谷出金成公園内



設立の経緯



2001年7月から9月の間、森との共生をテーマに開催された「うつくしま未来博森のネイチャーツアー&森の学校」のいわき版を作ること、30〜40年前にはどこにもあった里山を市民の手によって再生して、その里山において市民が安全に気軽に楽しく利用できる仕組みを作らねばならないとして、市民の有志が集まって2001年10月3日に設立した。

NPO法人の認証

指定管理者としていわき市林業研修センターおよびいわき市森林休養施設湯ノ岳山荘の管理運営に当たる必要から2004年6月にNPO法人の認証を受けた。
NPO法人の目的は「市民の森づくりならびに森との付き合い方についての調査研究、啓蒙に関する事業を行い、森に親しみながら持続可能な地域づくりを目指す」こと。
正会員: 117名 家族会員: 16名 団体会員: 7名 計140名

活動内容

(1)市民の森づくり

- ①里山における観察コースの整備と維持管理
- ②自然体験活動を安全に楽しく行うことのできるフィールドの整備
- ③栗園跡地(2.5ha)の再生整備
- ④里山の景観維持を主たるねらいとした田んぼ、畑作業
 - a.田んぼ・冬期湛水不耕起栽培(冬みず田んぼ)
 - 多くの生き物が集まる空間作りをねらいとし、米の収穫は副産物
 - b.畑・・・里山を開墾して畑にしたところで放置されていたところを復旧し耕作
- ⑤放置されている人工林の間伐等の整備作業
- ⑥海岸林の再生整備



(2)森との付き合い方の勉強会、プログラム開発

- ①プログラム開発
 - a.里山を中心とした自然体験活動プログラム
 - b.環境教育・学習プログラム
 - c.同上の指導者養成のためのプログラム
- ②森づくり技術研修
- ③調査活動



(3)自然案内人の育成ならびにインタープリテーション

- ①自然案内人の育成
- ②自然観察会・自然体験活動の実施
- ③小学校を中心とした環境教育支援



(4)森林や林業に関する啓蒙

(5)森に関する各種情報の受発信

(6)その他本会の目的達成に必要な活動

- ①いわき市林業研修センターおよびいわき市森林休養施設湯ノ岳山荘の管理運営について指定管理者として受託

定例活動日

- ★森づくり活動 毎週水曜日、第1、3土曜日
- ★農作業 毎週月曜日、第2、4土曜日
- ★プログラム勉強会 毎週木曜日
- ★木工クラフト活動 第1、3火曜日



ろうきん森の学校自然体験活動

- ・原則として毎月1回、第3日曜日に開催

- ・自然観察会、野外料理体験については毎回実施するほか
森の手入れ体験、農作業体験、森林療法体験、ネイチャーラフト、山野草勉強会、キノコ勉強会、ソバ打ち体験等を加えたプログラム。

- ・対象は会員を含む一般市民



いわき市林業研修センター湯ノ岳山荘

和室8室(1部屋4名)、会議室1部屋
バンガロー5人用8棟、4人用2棟(1棟2部屋)
ふれあい広場、炊事場1棟、森の工房1棟、自然観察コース約1km
利用料金 山荘1泊 大人1,430円、小人770円(自炊)
バンガロー 5人用 5,500円、4人用 4,400円
会議室 1時間 330円



①活動・組織の悩み、困っていること

会員数は140名と多くいますが、定年延長の影響等もあり、新規入会者が高齢化し、森林整備班のメンバーが減少傾向にあります。
国際ワークキャンプメンバー(大学生中心)による夏冬の活動によりカバーしておりますが、日常的な活動のなかでは人手不足の問題がこれから出てくるのが予想されます。

2022年4月以降、いわき市初の自然学校(※)を開設しますので、きめの細かい整備が求められるものと考えております。

※自然学校とは、地域の自然を舞台に常時各種自然体験活動を行うことができることです。特に、子供達が自然の中で遊ぶことを通じて、生きていくのに必要な多くのことを学んでいくことです。



②企業と協働したいこと

私たちと一緒に、子どもたちの外遊びが楽しく
できるフィールドを作りませんか！




③企業が参加するメリット⇒(従業員へのプラス効果)

- ◎健康維持、増進⇒自然の中で体を動かし汗をかく！
- ◎リフレッシュ効果⇒森林療法、フィトンチッド！
- ◎コミュニケーション能力の向上⇒伝える、伝わる！



ご清聴ありがとうございました。



[NPO 法人 Lotus(いわき会場参加資料)]



[NPO 法人 ソーシャルデザインワークス]



事業を通じての変化・成果

●スクエア事業 障害福祉サービス | 就労移行支援と自立訓練（生活訓練）のサービス提供

利用者（メンバー）さん	ご家族・近いの方々	地域・地元企業の方々
病後や障害で埋められなくなった 空き時間やスキルアップの機会を 「こちゃまぜ」で活用し、 自分自身のスキルアップや 地域貢献活動などさまざまな 活動を通じて、 自分らしい価値 観や生き方を築いていく ことが できるようになった。	最初は障害や病気に対して不安や 心配で、家族もスクエアの活動を通じて、 自分でもできることをつけていく メンバーさんを見て、 ご本人を サポートする ようになった。 家族もスクエアの活動を通じて、 自分でもできることをつけていく メンバーさんを見て、 ご本人を サポートする ようになった。	地域に根ざったスクエアとしてイベントや 地域活動の機会が増え、 病後や障害のある方 も参加できる ようになった。 イベントや地域活動を通じて、 自分でもできることをつけていく メンバーさんを見て、 ご本人を サポートする ようになった。

なぜこの2事業をやっているのか？

●スクエア事業
障害福祉のサービス提供
病後や障害のある当事者にスクエアの訓練や活動を通して
就労をするために「成長してもらおう」アプローチ

「障害」は当事者にあるわけじゃない。
地域と一緒に変わらなければ
メンバーさん（利用者）は幸せにないのでは？

●こちゃまぜ事業
多様性を認め合うまちづくり、発信事業
地域に住む方々にこちゃまぜ活動を通して、
病後や障害に対しての「イメージを変えてもらう」アプローチ

企業の皆様へ

こんなコラボレーションはいかがでしょうか？	企業の皆様へ
障がい者雇用や関係を活用した「こちゃまぜ」イベントの開催 例えば障がい者雇用を活用した商品販売や、障がい者雇用者のスキルアップを支援するイベントなど、障がい者雇用者のスキルアップを支援することが期待できます。 （例：障がい者雇用者のスキルアップを支援するイベント）	障がい者雇用や関係を活用した「こちゃまぜ」イベントの開催 例えば障がい者雇用を活用した商品販売や、障がい者雇用者のスキルアップを支援するイベントなど、障がい者雇用者のスキルアップを支援することが期待できます。 （例：障がい者雇用者のスキルアップを支援するイベント）



事業を通じての変化・成果

●こちゃまぜ事業 多様性を認め合うまちづくり、発信事業

利用者（メンバー）さん	イベント参加者	読者・リスナーの方々
スクエアを利用されるメンバーさん は「こちゃまぜ」の中で「こちゃまぜ」 イベントが実施されているので、 自分自身のスキルアップや 地域貢献活動などさまざまな 活動を通じて、 自分らしい価値 観や生き方を築いていく ことが できるようになった。	さまざまなイベント、コンファレンスなど に参加し、自分自身のスキルアップや 地域貢献活動などさまざまな 活動を通じて、 自分らしい価値 観や生き方を築いていく ことが できるようになった。	こちゃまぜイベント開催のレポート や「こちゃまぜタイムズ」などの 発信物を通じて、自分自身の スキルアップや地域貢献活動など さまざまな活動を通じて、 自分自身のスキルアップや 地域貢献活動などさまざまな 活動を通じて、 自分らしい価値 観や生き方を築いていく ことが できるようになった。

協働に向けて

できること・得意なこと

多様性理解を促進するための
イベントの企画・制作・運営ができます

デザイン、クリエイティブにこだわった
発信活動が得意です。

・広報物のデザイン
・写真・動画の編集・記録
・SNS、Youtubeの運用
・Webマガジン
・こちゃまぜタイムズ（例：障がい者雇用者のスキルアップを支援するイベント）

お力添え頂きたい課題

特にこちゃまぜ活動については資金面の
課題があります（委託・コラボ大歓迎）

利用者さんの就職先、もしくは体験実習先としてお仕事を依頼したいです。

（障害者雇用、時給、パートアルバイト等）

まだまだ事業の団体などで、昔ながらの
地域ネットワークがありません（ご紹介大歓迎）



NPO法人ビーンズふくしま

郡山事業部門
アウトリーチ事業長 山下仁子

ビーンズふくしま 設立

1999年9月9日 9° 9' 9"
学校に行きにくさを抱えた子どもたちのためのフリースクールを設立

ありのままの自分を認めてもらえる
「安心できる居場所」作りが必要との思いで取り組みを開始

※2003年NPO法人格取得

ビーンズふくしま Vision・Mission

【Vision】
生きにくさを抱える子ども若者が、自ら望む姿でつながることができる社会をつくる。

【Mission】
子ども若者の教育・労働・福祉との接続機会の喪失によって起こる「社会からの孤立問題」を解決する。

アウトリーチ事業目的

目的
子どもの権利保障 ～子どもの生きる力を引き出し育てる～

子どもの権利条約
～大きな4つの権利～



生きる権利 育つ権利 守られる権利 参加する権利

「生きる力」
～アウトリーチ事業～

- ・自らの困りごとを認識できる
- ・助けを求めることができる
- ・危険を回避できる
- ・将来に希望を持つことができる

アウトリーチ事業概要等

- ◆活動経費：福島県、須賀川市からの委託事業、その他、各種助成金を活用
- ◆対象家庭：生活困難家庭(生活保護家庭、主要保護家庭、ひとり親家庭)
- ◆支援形態：家庭訪問型(アウトリーチ)
- ◆対象年齢：学齢期(学齢期以降はフォローアップ)
- ◆対象地域：福島県中・県南地域

【貧困の中で生きる子どもたち】
保護者の障害、精神疾患等により、継続的に複雑な家庭背景・過酷な家庭環境で生きる子どもたちの多くは、子ども自身も障害や精神疾患を抱えていることが多い。
そうした子どもたちは、不登校、素行不良、親やその交際相手からの虐待等、様々な課題を抱えている。
やがて、子どもたちは、外との関わりを絶ち孤立していき、本来、子どもが生まれながらにして持ち合わせている**生きる力**が低下していく。
言わば、「子どもの貧困」という形で、**子どもの権利を侵害**されている実状がある。
生きる力が低下した先には、自殺企図、心中企図等、悲しい結果が待ち受けている。
「子どもの貧困」とは経済的貧困に限らず、子どもの生きる力まで奪ってしまうのである。

実際の支援手法

家庭訪問による直接支援

学習支援、生活支援、面談、健全育成、性教育講座など



子どもの意見を尊重した間接支援

情報提供機能、代弁・代行機能、パーソナルサポート機能、ノウハウの移管など



子ども同士の交流・ストレスケアを目的とした集合型活動

キャンプ、バーベキュー、スポーツ、クリスマス会など



アウトリーチ事業からのお知らせ

ノウハウ本の配布
アウトリーチ支援に関するノウハウをまとめた本を無料で配布しております。ご希望の方は、右下の連絡先までご連絡ください。




アウトリーチ事業 インスタグラム



連絡先
住 所 〒963-8022 郡山市西ノ内1丁目21-4 白龍ビル205
電話番号 090-8567-4121(担当者直通)

協働事例

太田福祉記念会 玉川ホーム

国立磐梯青少年交流の家

物作り講座・食育講座・遊び講座



宿泊学習・体験学習



協働に向けて

従業員研修

・貧困の中で生きる子どもたちの実状を知る。

・出来る支援と一緒に探る。

SDGs

2030年「こんな郡山市になっていたらいいな」を一緒に考える。

メッセージ

ビーンズふくしまは、子ども・若者の孤立問題解決を目指し、21年間活動を続けてきました。企業の皆様と連携を深め、子ども・若者の一歩を支えることのできる地域、たくさんの笑顔を生み出すことのできる地域を共に創っていきたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました。



●設立のきっかけ

〈法人設立の思い〉
障がいのある方々に、
住むところと働くところを提供したい

↓

住むところとしてのグループホーム開設

【6年後】
満を持して、働くところである
COLORFULを設立

●団体の目的

基本理念＝「人間性の回復」

- 障がい者（児）、高齢者、生活困窮者等社会的弱者への、日常生活の支援に関する様々なサービス提供
- 障がいのある方々の地域生活及び自立生活の向上
- 誰もが安心して生活することのできる人と環境の調和を図った、心ある社会への構築に寄与する

私たちの思い、考え

▲地域での問題・困った

- 障がいのある方々の
- 働く場所がない。
- 収入がない。
- 認めてもらえない。
- 個性、感性を発揮する場所がない。
- 支援者が増えない。
- 障がいの回復が進まない。
- 家族の安心も確保したい。

皆さんと解決していきたい。

●目指す地域の姿

- 芸術と文化の発信。
- 利用者さんの個性、感性を大事に、達成感・自己肯定感を育み、障がいの回復が図れる地域。
- 利用者さんの作品でも市場が開かれ、収入が得られる地域、社会。
- 障がいを、本人や家族だけの問題にしない
→地域が理解者、支援者。

活動紹介

①施設内での手作業による作品づくり

↓

利用者の**体調、能力に合わせた**サービス提供を心掛けています。

作品事例

他：ブリザーブドフラワー、ミニチュアBOX、会津しおりなど

②体験教室：地域住民を施設に招き、利用者と共に作品づくり
(コロナ禍前までは毎月1回開催。地域への障がいの理解の啓発活動)

③作品を施設内・外で販売

地域、市民、参加者の反応や変化・成果

【利用者】引きこもりがちであったが「**集う**」ことで、笑顔がふられ、作品づくりを通して**自己肯定感、達成感**が生まれ、前向きに生活できるようになった。

【家族】利用者が社会に出ることで明るくなり、家族内での**コミュニケーション**がとりやすくなった。家族感情が穏やかになり、お互いの生活が楽になった。

【地域住民】体験教室を通して、利用者と触れ合うことで**障がい者への理解が進んだ**。作品を買い求めに**来所する地域住民も増えた**。

協働に向けて

活動・組織での悩み 困っていること

- 販路拡大～PR不足
- 創作が困難、苦手な利用者さんのための、単純作業の受注と支援。
- ステップアップしたい利用者さんへの就労の色の濃い内容のサービス提供。
- 工賃向上。

企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

- 作品、商品づくりでのコラボ。
例：プレゼント用品
ノベルティ、記念品
利用者さんの感性を生かした作品づくり。
- 販売と販路拡大。
例：販売会
作品の定期レンタル。
企業内での就労体験。

企業に向けてメッセージ

利用者さんの個性、感性を大事にした作品を作ることによって、**達成感・自己肯定感**を育み、**障がいの回復**につなげております。

障がい者の**自立・社会参画**を目指すために、**雇用の拡大**や**作品の販売、活用**などのご協力をお願いします。

[NPO 法人 サポートクラブ・キャロット]

NPO法人サポートクラブキャロット キャロット八山田

職業指導員（兼）事務員
保科守男




●設立のきっかけ

■長い間、企業員として産後休業中だった方が、産後休業期間中に会社に戻って来ましたが、ある時、産後休業期間中に、施設利用者やその家族と接する中で、心で思っていたことも言葉に出して言えない、なかなかの無理難題があるのでは？と感じた方がきっかけでした。（理事長 戸田美穂氏）

■平成23年4月に「就労継続支援B型事業所」を設立しました。
※就労継続支援B型事業所とは、障害者の就職が困難な場合に、働く機会を確保するとともに知識及び能力の向上に必要な支援を行います。事業開始の事業所です。

●団体の目的

○障がいのある人が
充実した毎日を送られる

○障がいのある人の
社会復帰に向けた
活動・生活に対する
援助・支援を行う




私たちの思い、考え

■地域の課題 (障がい者に対する課題)

- ①地域の中で当たり前のように生活し、当たり前のように活動したい
- ②資金の確保と生活への支援
- ③自分の能力に合った社会貢献をしていきたい

→ 不十分 →

●目指す地域の姿 (団体の目的)

障がい者も健常者も共に手を取り合って、相互に人格と個性を尊重し合いながら
共生する地域社会の実現を目指します。

活動紹介

■事業所名：キャロット八山田 定員20名 職員3名
■平均工賃：令和2年度実績 14,979円/月（時給169円）

現在請け負っている主な仕事・・・

品名	数量	単価	金額
野菜類	10	100	1,000
果物類	10	100	1,000
パン類	10	100	1,000
お菓子類	10	100	1,000
飲料類	10	100	1,000
その他	10	100	1,000
計	60		6,000




地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

利用者の変化の一例

入所した頃は、他人とのコミュニケーションがうまく取れず、自分の居場所が見つからない状況でしたが、積極的に声かけ（朝夕のあいさつ）寄り添い（何気ない会話）サポートを心掛けたら、少しずつですが、自分から言葉をかけてくれるようになりました。これからは時間もかけて寄り添いたいと思います。




協働に向けて

活動・組織での悩み困っていること

工賃向上に向けて、安定した仕事の確保が難しい

→

企業と協働したいこと
サポートしてほしいこと

仕事の供給又は紹介の継続

※利用者が出来る仕事は、主として定着してやる軽微な作業が中心

企業様に対してのメリットは、安い手間で労働力を得ることができる！

↓

将来は、福祉施設から一般企業へ
1人でも多くの障がい者を送り出したい。

企業に向けてのメッセージ



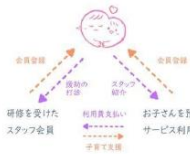
私たちは、企業の皆様と一緒に、障がい者も健常者も共に手を取り合い、寄り添い、明るく楽しい生活が出来るよう地域、社会づくりを目指していますので協力をお願いします。



[NPO 法人 子ども緊急サポート郡山]



サービスの仕組み



- 育児の援助を受けたい人で行いたい人の互援助活動
- 現在の登録会員は77名。シングル、共働き、障がい児の親などが多い。
- 認定を受けたサポーター(24時間の研修受講)が、現在26名登録。

入会金		年会費(保険代)	
3,000円(初回時)		500円(更新時)	
利用料金×時間×乗車＝利用料金			
	乗車時間	乗車料金	乗車料金
平日	乗車 8:00～18:00	300円/150円	
	乗車 18:00～8:00	300円/150円	
	乗車 8:00～18:00	300円/150円	
	乗車 18:00～8:00	300円/150円	
土曜 日曜	乗車 8:00～18:00	300円/150円	
	乗車 18:00～8:00	300円/150円	
	乗車 8:00～18:00	300円/150円	
	乗車 18:00～8:00	300円/150円	
留付		6,900円/12ヵ月	

※年会費は+1,000円

- 利用料金は、入会金、年会費と利用料金。
- その他、移動費やオムツ、おやつ、食事等は実費をご請求。

NPO法人子ども緊急サポート郡山とは

緊急時に子どもの預かりや送迎などのサービスを行うNPO法人

育児の援助を受けたい人で行いたい人の互援助活動

- 他の事業所があまり対応していない、急な要請や障がいを持つお子さんを積極的に受け入れ。
- 地域住民や転入者も暮らしやすいような、住民同士の交流や助け合いが自然に生まれるような地域を目指す。

登録会員の相互援助のしくみにより運営

2016年8月 子育て中の親が病気や仕事の時に、親に代わって子どもの預かりや保育所、学校、病院などへの送迎を行う取り組みを開始

2020年4月 こうした取組を継続的に行うために法人化



サービスの例

- 子どもの突然の病気の際の病院への送迎や入院の付き添い
- 急な残業の時の、こどもの送迎代行、食事の提供
- 会議やイベント実施時の臨時の託児所開設
- 産前産後の家事の支援
- 18歳未満の援助が必要なお子さんの支援



預かりサービス
(事務所での子育て支援・5歳児)



スペースパーク見学



スイミングに送迎



逢瀬川散歩

最近の活動



6月 鬼沼体験



7月 夏祭り



7月 湖水遊び



9月 二本松 遊園の里見学・体験

利用者の反応

☆仕事が終わって迎えに来たお母さんが、ホットした表情になって子どもを受け入れて、子どもも笑顔になる

☆お母さんからの声

- 子どもに障害があり、どこも見てくれる所が無いので助かっている。
- 朝早く出勤する時に見てくれる人がいないので、助かっている。



- 急に残業になり、子どもを迎えに行けなかったので助かっている。
- 出産で保育所に迎えに行けなかったので、助かっている。



企業の皆さんへ

活動・組織での悩み困っていること

- 当団体が取り組む事業を知らない人が多い
- 市内の各地にサポーターを配置出来るように増やしたい

企業と協働したいことサポートしてほしいこと

- 子育て中のお子さんの託児を行っていますので、企業の皆さんに利用してほしいです。
- どうすれば利用してもらえるか、一緒にアイデアを出して頂きたいです。
- 子育て中の親が、仕事に支障を来さないようにできるこの事業を知ってもらい、宣伝・広報の協力をお願いしたいです。



私たちと一緒に住み良い街をつくりましょう
是非、私たちの事業にご協力下さい

よろしくお願いいたします。



私たちは地域の子育てを応援しています

詳しくは：<https://npsaoko/yama.wordpress.com/>
NPO法人 子ども緊急サポート郡山



クローバー福祉会 ワークフレンドくじら

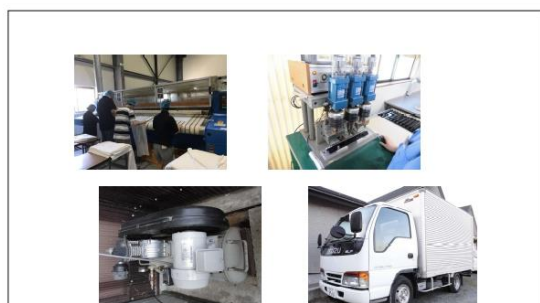
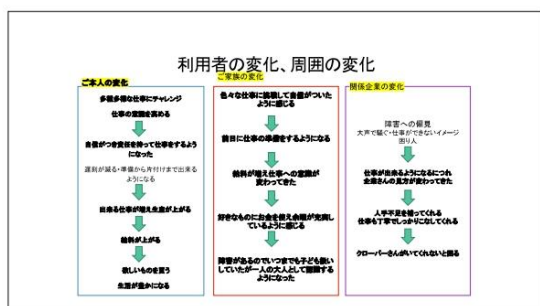
知的、精神、発達障害の方々が通い
共に学び、共に働き、共に成長する場所です。

理 念
『できる』
からはじめよう

『共に挑戦!』
『共にレベルアップ!!』
を心得とし、日中系
サービスを通じて
利用者の皆様に
安心・安全な生活、
就労の場、及び障が
い者福祉サービスの
提供を常に念頭にお
きながら事業運営し
ています。

- ワークフレンドくじらは

- 障害を抱えていても安心して働ける場所です。
長所・短所は誰にでもあります。
- 仕事をした対価に障害がある人は関係ありません。障害があっても適正に給与を頂き、自分で好きなことができるようになることを目指しています。
- できるだけ始めから決めつけず、どうしたら出来るようになるかを考えています。



企業に向けてメッセージ

『障害者』というと、簡単な仕事しかできないと思う方もいるでしょう。いえ、出来ます。健全者と呼ばれている人達でも、文句ばかり言う人、さばる人もいれば、得意不得意があります。健全者も障害者も同じ人間、何も変わりはありません。

人材不足を補います。どんな仕事でもお任せください。

仕組みはこちらで考案致します。



[NPO 法人 キャリアデザイナーズ]

認定NPO法人

キャリア・デザイナーズ 団体紹介

令和3年11月19日(金)
NPOと企業等のマッチング事業 マッチング会
@郡山市労働福祉会館



認定NPO法人キャリア・デザイナーズ
事務局長 鈴木 隆将

法人概要



- 団体名：認定NPO法人キャリア・デザイナーズ
- 所在地：福島県郡山市昭和二丁目2番7号 さとうビル2F
- 事業内容：いわゆるニート・ひきこもりと言われる方の
社会参加・就労自立支援
- 設立：2008年(平成20年)

職員数：9名
ボランティア数：20名
利用者数：約40名



令和3年10月
ふくしま連続ワイナリー見学



沿革



- 2008年(平成20年)9月：NPO法人設立
- 2015年(平成27年)1月：「認定」格の認定 認定NPO法人
- 2020年(令和2年)1月：「認定」格の有効期間の更新(5年間)
- 2020年(令和2年)11月：内閣府「地域創生SDGs官民連携プラットフォーム」加盟
- 2020年(令和2年)11月：郡山市「まちづくりハーモニー賞」受賞

【現在】

福島県中小企業家同友会 所属 (郡山支部 理事)
郡山市「多様な働き方支援事業」受託・実施



社会背景



- ・ニート・ひきこもりと言われる方々：
全国で約54万人。
- ・長期化・高齢化の傾向。
- ・40歳から64歳までの中高年ひきこもり：約61万人。
- ・「8050問題」(80代の親御さんが50代ひきこもりの子ども息子・娘の生活を年金等で支えている)
- ・将来、何もしなければ、多くは生活保護を受けるなどして生活せざるを得ない。
- ・2011年の原発事故による避難、コロナ禍等により、ひきこもり、社会的孤立・孤独といった精神的ストレスをより抱えやすい状況。



「ひきこもり」願いと思い



さまざまな不安



- ・何をどうすれば良いのか分からない
- ・体力の不安
- ・生活リズムの不安、昼夜逆転
- ・働くときのコミュニケーションの不安
- ・人とどう接すれば良いのか分からない
- ・一人で行動することの不安
- ・自分にできるかな
- ・人間不信・大人不信・社会不信・会社不信
- ・叱られたり、怒られるのではないかと不安

などなど・・・

私たちの思い



「働きたい」と願う若者らが、生き生きとやりがいをもって働き、充実した人生を送ることのできるよう、彼ら彼女らの伴走者として応援したい。

どんな取り組みをしているのか



- ・相談・カウンセリング(当事者、その家族)
- ・就労体験・ジョブトレーニング
- ・就労準備の講座
(パソコン、ビジネスマナー、コミュニケーション、職場見学、職業人講話、etc)
- ・居場所(ゲーム・レクリエーション、交流会)
- ・保護者会
- ・就労後のフォロー
- ・地域向けセミナー

大事にしていること



- ・否定されない**安心**した環境づくり
- ・**他者**との交流を通じて良い点を学ぶ
(グループやチームでの活動)
- ・**あせらず**、様々な経験や交流を通じて自立へ向かう

10

SDGs



11

SDGS

地方創生SDGs 官民連携 プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

2020年11月

内閣府「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」参加

12

企業の皆様へ



- ・職場見学の受け入れ
- ・就労体験・ジョブトレーニングの受け入れ
- ・社員の皆様によるボランティアの参加
- ・認知度向上、**広報**のご協力
(チラシ、WEBサイト、SNS「いいね」など)
- ・**地域向けセミナー**へのご参加 (令和4年2月26日(土)開催予定)
- ・**ご寄付**

など、ご協力の程なにとぞよろしくお願いいたします。

13

今までの協働事例 (一部)



- ・アパート共用部の定期清掃、博物館内清掃、コワーキングスペース清掃、など

14

今までの協働事例 (一部)



- ・フリーマガジン封入れ
- ・記事掲載

a. ru. ku出版株式会社様

15

今までの協働事例 (一部)



- ・ワイン用ブドウの栽培・収穫 農作業 手伝い

16

今までの協働事例 (一部)



- ・2020年10月 イベント出店 @開成山公園

17

今までの協働事例（一部）



工場見学（ふくしま達瀬ワイナリー）

18



ご清聴ありがとうございました。

20

今までの協働事例（一部）



2019年 チャリティライブ
ランドマークグループ様
（居酒屋村さ来 東北統括）

19



私たちの思い、考え

■地域の課題

- ・介護人材不足
- ・高齢化率の上昇
- ・社会保障費の増加

●目指す地域の姿

60代以上の方～要介護者まで、「生きがい・やりがい」をもてる仕組みを構築することで、日常生活の中で、介護予防・重度化予防につなげ、健康寿命の延伸を目指す。



今の高齢者は、若い！

みんなの声

1人暮らしで身寄りもないのに、まだなんでもできるから介護サービスが受けられなくて困っていたから助かった。
(90代 利用者)

離れて暮らす母が心配。かゆいところに手が届くし、公的サービスとも連携しているから、介護のセカンドオピニオンですね。
(認知症の親を持つ50代)

少し障がいがあるかな？という方も立派に働き手に。また、次回もお願いしたい。
(ケアマネジャー)

定年後に資格は取ったけど働けていなかった。これなら得意なことを仕事にできるので安心。
(60代 認定コンシェルジュ)

市町村圏域を越えた支援方法がなかったの、助かった。
(病院社会福祉士)

企業に向けてメッセージ

日本は、世界一の高齢社会です。2025年には日本の人口の1/3が高齢者(65歳)となります。

弊社の、登録者の半数以上は医療福祉の有資格者です。企業様と協働することにより、様々な高齢化対策ができ、それは必ず、一人ひとりが楽しみや生きがいを持ち、「最期まで輝く」助けになることができると考えております。

ご協力をどうぞ、よろしくお願いいたします。



●設立のきっかけ

ケアマネ時代に、「好きなことができないなら死んだほうがましなんだ」という高齢者の方に多数お会いしたことです。

介護保険などの公的サービスでは、生きるために使用できませんが、好きなことには使用できないのです。

公的サービスの補完的役割が必要だと思い、創業致しました。



●団体の目的

アクティブシニアや子育て中の女性等の勤働性や意欲を活かすことで、介護人材不足を解消できるだけでなく、社会保障費を抑制することにも繋がります。

支援が必要な方も、サービスを提供する方も双方の生きがいややりがいを重視し、人生を最後まで輝いたものとするを目的としています。



活動紹介

介護マッチングシステム



サービス事例

- 1●介護認定前でも、場所を問わない排泄や入浴介助、調理等 ●お墓参りでの介助
- 新型コロナウイルスにより会合の減ったご家族や友人とのオンライン通話サポート
- 2○企業への介護離職防止セミナー、社内の介護離職防止コーディネーター育成

協働に向けて

活動・組織での悩み 困っていること

①広報力不足
東北初のサービスであり、一般の方に馴染みがない。一般の方へ向けた十分な広報がされていない。

②情報発信力の不足
事務局の人員不足や知識情報の不足によりWEBやSNSによる発信に効果が見られない。

企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

①高齢化に対応できるサービスの協働開発
例、緊急通報装置との連携により新サービスの開発・企業の福利厚生としての介護サービスの利用

②広報協力
企業の営業ネットワークやイベント等にて告知などの広報の協力願いたい。

③経営者人事担当者向け介護離職防止セミナー
企業のセミナー等で介護離職予防や介護保険等の説明を通し、情報を発信したい。

[NPO 法人 会津美里クラブ衆]



会津美里クラブ衆が目指す社会...



活動紹介② 《定期》文化活動



会津美里クラブ衆の魅力！

- ▶ 豊富な活動数
 - ・健康のために何か始めたい
 - ・趣味友だちの輪を広げたい
 - ・初心者だけどやってみたい
- ▶ 自主サークル活動の支援
 - ・講師の紹介・派遣
 - ・スポーツ用具の貸出し(一部制限あり)
 - ・活動場所の確保
- ▶ マイクロバスを所有
 - ・29人乗りマイクロバスを会員限定で貸出し
 - ・スポーツ観戦(プロ野球)、視察研修(大蔵相馬焼陶芸体験)等に活用

協働に向けて...

- ▶ 一緒に運動しましょう！
 - ・ニュースポーツ体験、講師派遣・紹介
- ▶ 趣味を広げましょう！
 - ・自分に合ったもの/やりたかったものが見つかる
 - ・同じ趣味を持つ人たちとの出会い
- ▶ バスでお出かけしましょう！
 - ・スポーツ観戦、他地域との交流、文化体験・見学
- ▶ こんなイベントがあれば...を実現しましょう！
 - ・イベントの企画・運営・参加

NPO法人会津美里クラブ衆とは...

- ▶ 設立の目的...スポーツ・文化活動による地域住民の健康増進および地域活性化
- ▶ 事業の概要...
 - ・設立 2011年10月28日(任意団体)
 - ・設立 2013年12月26日(法人)
 - ・所在地 大田郡会津美里町字東川原3244-1 (高田体育館内事務室)
 - ・会員数 428名(2021年11月現在)
 - ・内訳:大人306名、子ども122名
 - ・種目数 スポーツ活動23種目29教室、文化活動6教室
 - ・指定管理施設 高田体育館、二本柳運動場、河津庭球場、小山スキー場等

活動紹介① 《定期》スポーツ活動



活動紹介③ イベント・出前講座



これまでの実績 《利用者の声》

- ▶ 健康増進・運動機会の提供
 - ・骨盤のゆがみが改善してきた。
 - ・一人ではやる気が起きない運動も誰かと一緒だとやる気になる。
- ▶ 楽しい・出会いの場提供
 - ・新たな趣味を新たな友人と楽しく活動している。
 - ・同世代の方と同じサークルで出会い、良いご縁に恵まれた。
- ▶ イベントの企画・運営
 - ・プロスポーツ選手に教えてもらって急になったし、モチベーションアップにも繋がった。
 - ・親子で楽しめたし、ふれあいの場になったので良かった。

[NPO 法人 Lotus(会津会場参加資料)]



会津の企業の皆さまへ ご提案①
「企業主導型保育園」を
一緒に作りませんか？



会津の企業の皆さまへ ご提案②

会津地域の
子どもたち向けに
「イベント企画・開催」を
しませんか？



会津の企業の皆さまへ ご提案③

処分するものを一緒に
「利活用」しませんか？



会津の企業の皆さまへ ご提案④

「子育て世帯の拠点」を
一緒に作りませんか？

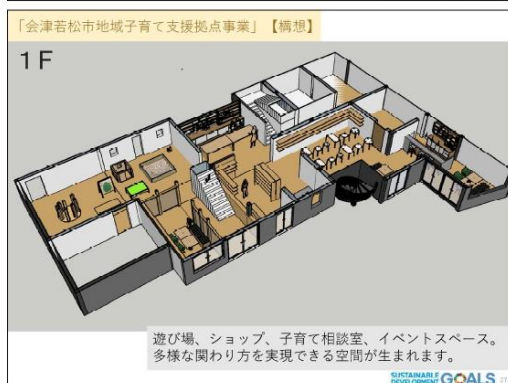


保育事業 ロータス保育園①【内観】 福利厚生 保育園にもできます！









特定非営利活動法人ビーンズふくしま

福島事業部門長 江藤大裕



●設立のきっかけ

- ・学校に行きにくさを抱えた子どもたちのためのフリースクールを設立(1999年)
- ・ありのままの自分を認めてもらえる「安心できる居場所」づくりが必要との思いで取り組みを開始

●団体の目的

- ・不登校の子どもたちやひきこもりの青少年たちのために、その生き方と学習を支援するとともに、社会の創造に貢献することを目的とする。



私たちの思い、考え

▲地域での問題・困った

- ・不登校の子どもは、小中学生合わせて前年度比6.1%増の13万3683人(2018年)
- ・2019年に児童虐待事件1972件
- ・育成会など地域の居場所の喪失

●目指す地域の姿

- ・子どもの育ちを支える「地域」
- ・家庭・学校・地域の「つながり」



活動紹介

「子ども食堂よしいだキッチン」

学び・遊び・食を通して、笑い繋がる地域のプラットフォーム

【日時】月1回 第三木曜日16時～19時 【場所】吉井田学習センター

【参加人数】子ども連、ボランティア含め70名～200名

HP:  Instagram: 



協働事例

- ・郡山島田海苔店様
(焼き海苔体験ワークショップの実施)
- ・伊達貨物運送(株)様
(よしいだキッチンに社員ボランティアの参加・募金活動)
- ・様々な企業様
(フードロス対策として食材提供)
- ・こくみん共済coop様
(夏祭りの共催・広告物作成・動くみ)



協働に向けて

【現在のプロジェクト】

- 子ども食堂
- 無料塾
- ひとり親家庭への宅食

【今後のプロジェクト】

- 地域通賃プロジェクト
- カフェ運営
- 子ども食堂の拠点整備
- 高校生・大学生の居場所づくり

【協働】

- 従業員研修
- SDGs(フードロス)
- 拠点改修(リフォーム)
- 地域通賃やカフェなどを用いたまちづくりでの協働



企業に向けてメッセージ

ビーンズふくしまはこれまで一貫して子ども・若者のために22年間活動してきました。企業の皆様と連携を深め子ども・若者の一歩を支えることのできる地域、たくさんの笑顔を生み出すことのできる地域を共に創っていきたくと考えています。



[NPO 法人 桑折町共に生きる社会を創る会]

NPO法人 桑折町共に生きる社会を創る会

輪 楽 創

(わらっく)

理事長 高橋 徹




●設立のきっかけ

○障がい者が利用できる就労支援の事業所が町には1か所しかなく、そのうえ利用者がいっぱい。
○親の会会員の障がいのあるお子さんたちは、隣の伊達市の施設利用がほとんどであった。親の高齢化に伴い送迎が大変だ。

●団体の目的

障がいの有無にかかわらず安心して楽しく生活できる共生社会の実現に取り組む

- ① 就労継続支援B型事業所「輪楽創」の経営による障がい者の自立の支援。
- ② 障がい者、保護者、地域住民に対する相談活動による就労や生活の支援。
- ③ 食堂を通した障がい者と地域住民の交流、各種イベント、広報活動等による共生社会の創出。

桑折町手をつなぐ親の会の願い
「桑折町に新たな事業所を作りたい」




私たちの思い、考え

▲地域での問題

○障がいの有無にかかわらず共に生きる社会の意識が高いとは言えない。
○就労支援事業所から、他の就労支援サービスや一般就労へ移行していく際に就労できる「場」についての情報不足。
○地域内での関係機関による連携が不十分。

●目指す地域の姿

○障がいの有無にかかわらず共に生きる共生社会の創造。
○障がい者の就労へ向けて、情報を集約できる場の充実。
○障がい者支援の関係機関連携の推進。

活動紹介

輪楽創の作業(仕事ありきではない)

・多くの作業の中から利用者が自分の夢や希望に沿って作業を選ぶ
・利用者が自分の意志で作業を決定し、自尊心を高めていく

- ① 農作業 食堂での食材(6次化) 農産物の販売 農福連携(人で不足の「農」と仕事不足の「福」の連携)
- ② 食堂での調理
- ③ 織物
- ④ DM便
- ⑤ 企業からの下請け(フルーツキャップ折り、箱折り)





地域、市民、参加者の反応や変化・成果

○利用者からは・・・「輪楽創はとても楽しい」
○保護者からは・・・「障がい者の居場所ができてよかった」
○福祉関係者からは・・・「輪楽創は家族的で紹介しやすくなる」
○地域住民からは・・・輪楽創祭りや地域での販売会、食堂での交流、便りを通じて「障がい者と交流できる場ができてうれしい」「障がいに関する地域の情報を知り、応援しやすくなる」




協働に向けて

活動・組織での悩み 困っていること

○農作業を中心に作業をしているが、あまり高い収入は望めない。
○コロナの影響もあり、企業からの下請けの作業がなくなったり減ったりしている。
○地域住民との交流も目的の一つにした食堂経営であるが、コロナの影響で来客者が減っている。
○精神障がい者の相談・通所も増えているが、その支援方法が難しい。

企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

○農福連携の充実を図り、農福連携をはじめとした機関や企業からの指導助言
○障がい者ができる作業を共に研究し開発
○食堂以外の地域住民との新たな交流についてノウハウの共有
○障がい者雇用(特に精神障がい者の雇用)の社会における企業や事業所の役割について共に研究

企業に向けてメッセージ

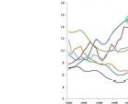
○「共に生きる社会」を共に創っていきましょう。
○障がい者の就労に向けて合理的配慮を共に研修していきましょう。
○障がい者自立支援協議会等、地域の福祉関連機関と共に連携していきましょう。






●設立のきっかけ

経済的には豊かな時代になった日本だが、子どもたちが将来に夢をもてないまま大人になり、世界的にも青少年の自死が多い国であることに疑問を持った。



子ども時代に思いっきり遊ぶことで変わるのではないかと、**「青空保育たけの子」**を創設し、昨年で**10周年**を迎えた。

●団体の目的

子どもも大人も共に成長し、自分で考え、自分で発言し、自分で行動できる子どもを育てることを目的としている。



青空保育 たけの子 2P

私たちの思い、考え

◆地域の課題

課題(1)

子どもたちの**AKB**(あぶない・きたない・ばかばかしい)な遊びを保障する環境(自然・人的・社会的)が整っていない。

●目指す地域の姿

「崖の上のポニョ」の舞台になったような、子どもの居場所と大人の居場所が隣り合わせで、自然豊かな環境でお互いに刺激し合える地域。



青空保育 たけの子 3P

課題(2)

原発事故そしてコロナと、子どもたちが特に**自然の中で遊ぶこと**が困難になって免疫力も落ち、居場所がない。

活動紹介



民泊・カフェを除く事業は原発事故を経た大人の責任としてすべて福島県米沢市に委託

青空保育 たけの子 4P

卒園児の保護者から

たけの子に通う前の娘はハエがうでに止まっても泣いていたのに、今では**カナチョロ**のオスとメスを捕まえて卵を孵化させ、育てるくらいになりました。



息子は初め、木に登ることすら助けを求めていましたが、「お母さん、たけの子では助けません。」と言われて、私には衝撃でした。考えてみたら、昔は大人が付いて遊ぶことはなく、大きい子を見て真似したり、まだできなくて悔しかったり、憧れていたという経験が、たけの子ではそうだった。たけの子で大切にしてくれています。

失敗の経験が大事

青空保育 たけの子 5P

協働に向けて

活動・組織での悩み
困っていること

企業と協働したいこと
サポートしてほしいこと

もっと利用者を増やしたいが、福島での知名度が低い

子ども達の保養・自然体験の共同企画を作ったり、防災教育の企業研修に使って欲しい

青空保育 たけの子 6P

企業に向けてメッセージ

子ども達が自分で作ることができる昔ながらの食事
《子どもが自分で作って食べるこども食堂》

コロナ禍の中、雑穀中心の日本食で
こどもたちの免疫力をあげたい！



つぶつぶ未来食の給食
2020年10月から
当園でスタート！

ウンチが
変わった！！

青空保育 たけの子 7P

BEET FARM - since1749 - さとばたけ
NPO法人市民活動ネットワーク相馬

さとばたけハウス
〒976-0032
福島県相馬市山越98 080-5562-3335
e-mail: satobatake@pb.ne.jp
HP: satobatake.fc2.net
会費募集中! 入会費 1,000円 年会費 9,000円



ビートファーム(satobatake) 1

●設立のきっかけ

①東日本大震災と原発事故により、職場、自宅が被災
②相馬・双葉地域の震災復興のために

平成25年
・NPO相馬歴史文化保存会
・一般社団法人相馬報徳社設立
(相馬報徳社は、令和2年12月解散)
令和3年10月組織名称変更

●団体の目的

活動内容

①震災復興コミュニティ施設さとばたけハウスの運営
②報徳仕法の実践
論議や、報徳思想をとおして地域の子供たちへの学習支援活動
③相馬・双葉地区の歴史・文化等の保存活動
人材育成、文化財等の保存

報徳とは、江戸時代の幕府参勤二宮金次郎が抱えた農村の具体的な復興政策・思想「道徳・勤労・分業・復興」の4つの柱を具現することです。




2022/1/19 ビートファーム(satobatake) 2

私たちの思い、考え

●地域の課題

①相馬・双葉の人口流出
②有形・無形文化財の保護、維持が困難
③地域経済の停滞、縮小
→喪失
ほんの少しでも...

●課題解決のために

天明・天保の大飢饉を克服した仕法で、再度復興に取り組む。
①人口減少の歯止めを自分たち1団体が頑張っても限界があるため他団体と連携を目指す。
②宮城、山形、福島の団体とも連携し、農業をベースに地場産品を活性化。

2022/1/19 ビートファーム(satobatake) 3

活動紹介

【復興支援コミュニティ】
①お花いっぱいプロジェクト実施
②アニメ「無敵」「いのちのおにぎり」制作
③こども論語教室開催
④ドキュメンタリー映画「土徳流離」制作・上映
⑤東北まち物語紙芝居100本化プロジェクト
⑥アニメ「この世界の片隅に」上映
⑦ミュージカル「二宮金次郎」実施
⑧映画「二宮金次郎」上映
⑨金次郎語録カレンダー制作

【文化財保護等】
⑩地酒「鳥籠」復活
⑪焼き物「相馬駒焼」復活

×二宮尊徳高弟「富田家住宅」保存活動
×相馬中村報徳役所「海東家住宅」
×市指定文化財「御仕法通り佐藤家住宅」




交流イベント
お花いっぱいプロジェクト
2022/1/19 ビートファーム(satobatake) 4

地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

震災から10年が経過。
そして
次の10年に向けての取り組み

①震災体験が風化
②ハウスの利用再開
コロナウイルスによる1年以上の閉鎖を乗り越えて
過去、月約20団体、延べ500人、年間4000人がサークル、地域学習会、イベント等利用
さらに、新規事業の実施、発展



東日本大震災を忘れない

地域の企業、住民の方々とさらなる連携

2022/1/19 ビートファーム(satobatake) 5

団体として取り組みたいこと

①カルチャー教室運営とイベント開催
②人材育成事業
③地場産品、農産品加工のネット販売
④文化財保存活動

福島市泉の国登録有形文化財「佐藤家住宅」の保存活用

2022/1/19 ビートファーム(satobatake) 6

メッセージ

NPO法人市民活動ネットワーク
「さとばたけハウス」のこれからの役割

住民の絆づくりと交流拠点

↓

さまざまな事業をとおして地域貢献



2022/1/19 ビートファーム(satobatake) 7

お願いしたいこと

福島・伊達市など、福島県北地域でのイベントなどの協力

1 シンガーソングライターhactoさんとの
お花いっぱいプロジェクトの実施先確保支援
2 紙芝居の実施先と、絵本・DVDの販売協力支援
3 こども論語実施先確保

⇒ ホームページの内容充実 と ネット販売

2022/1/19 ビートファーム(satobatake) 8

[NPO 法人 ライフケア]



— どんな社会を目指しているのか? —

きっかけは、2011年の震災と
原発事故。
10年間の被災者支援活動から、
原発に頼らない暮らし方や、食
やエネルギーの自給を実践し、
ひとと人、人と自然が共生でき
る社会を目指している。



3

— 活動に対するこだわりやポイントは? —

- 1) 福島当事者の視点で担っている支援活動
- 2) 体へのアプローチが心をひらく (温熱療法、聞く、話す)
- 3) それぞれの価値観、復興への多様性を認め合うこと



5

— 私たちが企業との連携で求めているものは —

まず、活動を知って欲しい。真の復興は
何かを一緒に考えてほしい。

その上で

- ボランティア
- 資金、食材、生活物資のご提供
- 改修工事の資材のご提供、
- 歌声サロンの開催
- ツアーへの参加
- 人材育成として講座や保養へのスタッフ派遣。



7

— NPO法人ライフケアとは? —

原発事故の被災者の心身の健康作りと、
自然体験活動や懐かしい暮らし体験事業

— どんな事業があるの? —

1. 自然医学による被災者の健康づくりや相談事業。
2. 自然体験、暮らし体験、保養事業 (佐渡ヶ島)
3. 歌や語りを通じた被災者の交流事業
4. 社会的弱者への支援活動



<所在地>: 二本松市松岡93
<佐渡事業所> 新潟県佐渡市良度575 佐渡保養センターへっついの家

— どんな取り組みをしているのか? —

- 1) 「健康相談、快医学講座」
2011年から避難所、仮設などで毎月開催し現在も続いて
いる。世界快医学ネットワークと連携しこれまで数千人に
対応してきた。
- 2) 「自然・暮らし体験事業」(佐渡ヶ島へっついの家)
2011年から通年で福島の親子の保養や自然・暮らし体験を実施。年60日
ほど開催し毎年、延べ700人程が利用。
- 3) 「歌声サロンとスタディツアーなどの交流事業」
歌を通して心を開くサロンと福島のいまを知ってもら
うスタディツアーを実施。
- 4) 「お弁当宅配事業」(郡山)
生活弱者の家庭にお弁当を毎週届けている。
「誰も取り残さない」一歩にしたい。



6

— 何が得意か、何を提供できるか —

A) 体験講座の提供

「自然医学講座」、「健康相談」、「手当ての茶の間」、
「コウ・カウンセリング」、「砂浴体験」



B) 自然・暮らし体験の提供

「不耕起の米作り」、「保養」、「古民家再生」、
「サバイバル体験」、「未来デザイン講座」



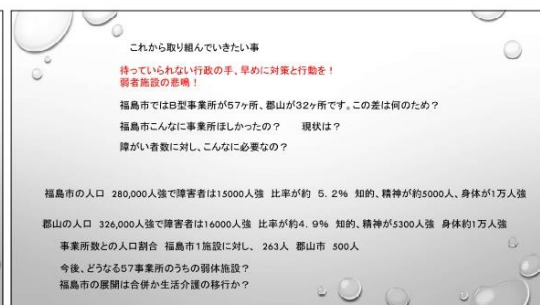
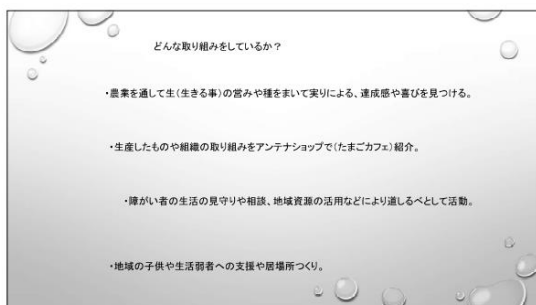
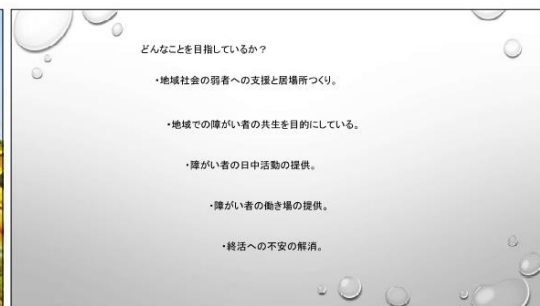
C) 地域交流事業

「出前歌声サロン」、「スタディツアー」、「避難者
トーク」、「弁当宅配」



6

[NPO 法人 南茶和]



(5) マッチング会後のアフターフォロー

マッチング会の終了後、参加 NPO や企業にマッチング会の感想についてアンケートを行った。

- 実施期間：令和 3 年 1 2 月 2 5 日(金)～
- 実施方法：メール、訪問
- アンケートの内容

〈NPO〉

- ・ 参加企業が何を望んでいるかが分かると、それに準じた資料を準備することができた。
- ・ 企業の労働組合、CSR 担当者などとも話をしてみたい。
- ・ 企業が要望することと NPO 側で可能で得意とする活動があるので、定期的に情報交換の機会があると協働事業に発展できると思った。
- ・ NPO は、より具体的なコラボ計画が立てば、助成金を獲得しやすくなるため、実現するには時間が必要だと思う。
- ・ マッチング会に参加しなければ知らなかった企業もあったため、参加して良かった。
- ・ 企業の考え方を参考に維持費の捻出を検討したい。
- ・ 当法人の店舗のある他地域のマッチング会にも参加したいと思った。
- ・ ニーズや目的(広報に課題がある、資金面で援助したいなど)ごとに分かれてのマッチング会の企画なども良いかと思った。
- ・ 直ちに自団体のニーズにあったマッチングは難しいが、時間をかけて進めたい。
- ・ 企業の事業紹介の時間では、どんなことができるか、どこまでできるかなどを話していただけると良かった。
- ・ 地域内で後継不足の産業や、地場産業を企業と共に支えていければ素敵だと思います。
- ・ 活動を広く知っていただくために、広報力のある企業との連携を深めたいと考えている。企業向けのセミナー等で情報発信を行い、自団体の活動で連携相手に貢献したい。

- ・ 参加企業がどのようなことが出来るのか、支援許容範囲なのか、なども分かるとプレゼンする内容も工夫のできたのかもしれないと思いました。
- ・ 起業したばかりの、一緒に新しいことに挑戦してくれそうな企業とのコラボもしてみたい。
- ・ 事前の講座で企業情報が得られたので、あらかじめホームページを見ただけでお話ができ、とても有意義だった。
- ・ 企業からもプレゼンがあったことで企業の考えや取組も理解できたので、とても有意義だった。
- ・ 銀行やロータリークラブなどとも話をしてみたい。
- ・ 企業の取組紹介によって何となくはやっていることがわかったが、もっと深く理解する必要がある。あくまでこれは入口だと考える。
- ・ お互いを理解するには時間があるし、定期的な交流の場が必要だと思う。
- ・ 参加企業の中には「ギブ&テイク」のような意識が見えるところがあった。次に進めるための工夫や仕掛けが欲しいと感じた。例えば、もっと時間を取った交流会やサロンなども企画していいのではないかな。
- ・ 相手の企業を理解するには時間がかかるが、あせらずじっくりと取り組んでいきたい。
- ・ すべての企業とではなく、希望する相手との対話だけでも良かった。

〈企業〉

- ・ 団体の活動紹介の時間が短かった。取り組んでいる事業概要が理解しきれないままで個別対話に臨む形となるケースが多かった。
- ・ 団体の活動紹介では、話したい内容がいっぱいあるためか、概要がまとまっていない団体が多く見られた。
- ・ 参加する NPO が固まってから、それと連携が図れる企業の参加を募集した方がより効果が高まるのではないかと感じた。
- ・ 企業とのコラボに何を望むのかを事前に聞いておきたかった。そうすればこちらもそれに合わせた「こんな事が出来る」という提案を準備出来る。
- ・ 団体や企業の紹介等は全て事前に済ませておいて当日はコラボの可能性に的を絞って限られた時間を使った方が良かったと思った。

- ・ マッチング会の前でも NPO と Zoom 等で話が出来たら良いかなと思った。
ある程度、事前にコラボについても話を済ませておいて、「では詳しくは当日対面で話しましょう」という形になれば、当日限られた時間の中でもう少し踏み込んだ具体的な話が出来ると思う。
- ・ アート文化系の NPO とコラボしてみたい。
- ・ 広報に困っている NPO を支援したい。
- ・ 1 対 1 の対面形式での話には、抵抗感を感じた。
- ・ 前半の団体プレゼンは、もっと短時間で良かったと思う。
- ・ NPO がマッチングで求めるニーズに合った企業を招く方が良いと思う。
- ・ 個別対話の時間が思ったより短く感じた。
- ・ 障がい者福祉施設との連携を模索していきたい。
- ・ 企業の事業紹介の時間はもう少し長い方が良かった。
- ・ 個別対話の時間が短かった。
- ・ 地域や、街の活性化に取り組んでいらっしゃる NPO や学生団体とかの参加があっても面白かったと思う。

4. マッチング事業の成果

令和3年11月に実施した「NPOと企業とのマッチング会」後の参加NPOと参加企業との協働に関する成果または令和4年3月現在の進行状況は以下のとおり。

(団体名・企業名等 敬称略)

報告(1) 企業の店舗を活用した、NPOによる相談会の実施

■NPO／一般社団法人 fukucier (会津若松市)

■企業／株式会社いちい (福島市)

① 協働事業の内容

食品スーパーいちいの店舗スペースを活用した、高齢者の介護や福祉に取り組むfukucier (ふくしえる) による介護相談会の実施。

② 双方のメリット

- NPO／団体が持つ介護に関するノウハウや情報を提供する機会の獲得。
- 企業／店舗来店客に対するサービスの提供。

③ 成果または進行状況

いちい「街なか店」の店舗スペースで、fukucier が「介護のお悩み相談会」を開催した。介護相談会は12月14、15、21、22日の計4日間行われ、様々な相談を受けた。中には、地域包括支援センターへ繋ぐような相談もあった。なお、いちいへは、今後継続的に開催するような提案も行う予定である。



報告（２）NPOと企業の双方の特徴を生かした商品開発と販売

■NPO／特定非営利活動法人 Lotus（会津若松市）

■企 業／株式会社 布分（会津若松市）

① 協働事業の内容

木を活用した様々な取組で地域およびコミュニティの活性化や子どもの教育を行っている Lotus と、会津塗による製品の企画・製造販売を手掛ける布分による新製品の製作。

② 双方のメリット

■ NPO／従来の活動から生まれた派生商品の開発。地域の子どもに対する地元伝統産業と触れ合う機会の創出。

■ 企 業／会津塗の活用の幅の拡大や次世代への浸透促進。

③ 成果または進行状況

Lotus が制作する木製の玩具に布分が会津塗で絵付けをし、新商品を製作した。この商品は、毎年１月１０日に会津若松市で行われる「十日市」で販売した。

また、この素材を活用し子どもを対象にした会津塗絵付けワークショップの企画を検討している。このワークショップでは、子どもが地元の伝統産業である会津塗に触れ合う機会を創出することで会津塗の次世代への伝承や子どもたちの地元愛の醸成などをを目指す。



報告（３）NPOによる子どもの育成支援事業への企業の協力(昨年度からの継続事業)

■NPO／特定非営利活動法人ビーンズふくしま（福島市）

■企 業／株式会社いちい（福島市）

①協働事業の内容

ビーンズふくしまが行う子どもの居場所づくり・育成支援に対する、いちいの実施場所の提供や広報の支援等による協力。

②双方のメリット

■ NPO／自団体の取組の安定的な実施の実現

■ 企 業／自社が持つスペースの有効活用や来店客へのサービスの提供

③成果または進行状況

ビーンズふくしまが、子どもの育成支援の一環で計画していた「無料塾」を、いちいの「FOUR'S MARKET」にて実施した。この事業は昨年度より連携による開催の検討が行われていたが、新型コロナ感染が落ち着いた令和３年１０月２２日に初開催となった。以降、毎月１回のペースで定期開催されている。



報告（４）その他、今年度マッチング会以後で現在進行中の事業や提案

■ 特定非営利活動法人 なこそ授産所（いわき市）

◎ 常磐共同ガス株式会社（いわき市）

常磐共同ガスが毎月発行するフリーペーパー「La-暮らす」へのなこそ授産所の記事掲載を検討中。「La-暮らす」は医療・健康・福祉に関する記事を掲載しており、なこそ授産所の取り組みと親和性が高いことから具体的な検討が行われている。

◎ 常磐共同ガス株式会社（いわき市）

常磐共同ガスが新商品の発売に合わせて行っている自社イベントへの、なこそ授産所のブース出店を検討中。なこそ授産所は、これまでも地域住民との交流や団体の活動の周知を兼ねて地元のイベントにブースを設置して障がい者と団体スタッフとで製作している「しあわせ味噌」を販売している。現在はコロナ禍の影響で出店の機会が失われているが、常磐共同ガスの自社イベントが開催された場合の出店について、具体的な検討が行われている。

■ 特定非営利活動法人 いわき緊急サポートセンター（いわき市）

◎ 株式会社福屋呉服店（いわき市）

いわき緊急サポートセンターが次年度開催で検討している交流会の中で企画している着付け教室の講師として福屋呉服店のスタッフの招聘を検討中。交流会の実現に向け、助成金の申請等資金調達を検討している。

■ 特定非営利活動法人 Lotus（会津若松市）

◎ 常磐共同ガス株式会社（いわき市）

Lotus が県内で展開する「木育キャラバン」等の、浜通り開催の際の支援（社員ボランティアや企画参加など）について提案を受け、企画検討中。

■ 特定非営利活動法人 Lotus（会津若松市）

◎ 布分（会津若松市）

Lotus が今年度の会津若松市のふるさと納税返礼品に選ばれた「鶴ヶ城廊下橋木片使用記念品」の次年度に提案する商品の、布分との共同制作を計画中。

■ 特定非営利活動法人 クローバー福祉会（郡山市）

◎ 株式会社 宝来屋本店（郡山市）

障がい者雇用に前向きな宝来屋本店が、雇用～就労の際の留意点などに関して専門家であるクローバー福祉会からレクチャーを受けられるか打診あり。

合わせて、地域(郡山市)における障がい者雇用についてお互いが協力して活性化を図るための取組も検討している。

■ 特定非営利活動法人 ビーンズふくしま、特定非営利活動法人 青空保育たけの子
(いずれも福島市)

◎ 株式会社 宝来屋本店(郡山市)

宝来屋本店が味噌を製造する際にロットごとに発生する食品トレーサビリティ用のサンプルの、子ども食堂への提供を打診。実現に向けて、NPO 側が受け入れ体制を検討中。

■ 特定非営利活動法人 チームふくしま (福島市)

◎ 福島学院大学 (福島市)

チームふくしまが取り組んでいる防災士の育成について、福島学院大学の学生向けの講座実施を企画部に提案。

◎ 株式会社いちい (福島市)

チームふくしまが立ち上げた生活困窮者支援のプロジェクト「コミュニティフリッジひまわり」への、いちいの参画を提案中。提案内容は設置場所の提供や賞味期限が迫っている食品の提供などである。

※以上、令和3年12月～令和4年3月に実施した取材より抜粋

令和3年度 ふるさと・きずな・維持再生支援事業事務業務

NPO、企業、学生等との連携・協力事業 (NPO と企業等のマッチング事業) 報告書

令和4年3月 発行

ふくしま地域活動団体サポートセンター

〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階

TEL 024-521-7333 FAX 024-523-2741

URL <https://fnpo-matching.f-saposen.jp/>

事業委託: 福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課

事業受託: 認定特定非営利活動法人ふくしまNPO ネットワークセンター
